

**令和5年度 全国学力・学習状況調査
熊取町の分析結果**

熊取町教育委員会

目 次

1. 全国学力・学習状況調査の実施について

- (1) 調査の目的
- (2) 調査の名称
- (3) 調査の対象
- (4) 調査事項
- (5) 調査実施日等

2. 令和5年度 熊取町の各教科の結果

3. 学力調査から明らかになった課題と今後の取り組み

- (1) 国語
- (2) 算数・数学
- (3) 理科

4. 児童生徒質問紙の結果と分析

- (1) 質問紙調査結果と分析
 - ① 基本的な生活習慣等
 - ② 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
 - ③ 学習習慣、学習環境等
 - ④ 地域や社会に関わる活動等の状況
 - ⑤ ICTを活用した学習状況
 - ⑥ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
 - ⑦ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳
 - ⑧ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等

1. 全国学力・学習状況調査の実施について

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の名称

令和5年度全国学力・学習状況調査

(3) 調査の対象

① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には、公立大学法人が設置する学校（以下「公立大学附属学校という。」を含むものとする。

ア 小学校調査

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

② 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

③ 右耳・左耳それぞれの平均聴力レベルが60デシベル以上の生徒は、中学校の教科に関する調査の英語のうち「聞くこと」及び「話すこと」に関する調査の対象としないこととすることができる。

(4) 調査事項

①児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語、算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

② 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

(5) 調査実施日等

① 児童生徒に対する調査

調査の実施日は、令和5年4月18日火曜日（以下「調査日」という。）とする。

ア 小学校調査

(ア) 教科に関する調査の調査時間は、国語及び算数それぞれ45分とする。

(イ) 児童生徒質問紙調査は、各学校の状況に応じて適切に実施する。

イ 中学校調査

(ア) 教科に関する調査の調査時間は、国語、数学及び英語それぞれ50分とする。なお、英語の調査時間は「聞くこと」、「読むこと」及び「書くこと」に関する問題は45分とし、「話すこと」に関する問題は5分（準備や移動に要する時間を合わせて15分）程度とする。

(イ) 国語、数学及び英語（うち「聞くこと」、「読むこと」及び「書くこと」）については調査日に実施する。英語「話すこと」については、調査日には文部科学省が指定する一部の中学校（500校程度。以下「当日実施校」という。）で実施する。その他の中学校（以下「期間内実施校」という。）については、令和5年4月19日水曜日から同年5月26日金曜日までの間で、各学校の希望する日にちを踏まえて調整を行い、学校ごとに文部科学省が指定する日に適切に分散して実施する。

(ウ) 生徒質問紙調査は、各学校の状況に応じて適切に実施する。

② 学校に対する質問紙調査

令和5年4月に実施する。

③ 調査実施に関するスケジュール (モデル)

【小学校調査】

1 時間目	2 時間目	
国語(45分)	算数(45分)	児童質問紙 (20～40分程度)

【中学校調査】

〈英語「話すこと」に関する調査の当日実施校の場合〉

調 査 日	1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 限目	5 限目
	国語(50分)	数学(50分)	英語 「聞くこと」・ 「読むこと」・ 「書くこと」 (45分)	生徒質問紙 (20～45分程度)	英語 「話すこと」

〈英語「話すこと」に関する調査の期間内実施校の場合〉

調 査 日	1 時間目	2 時間目	3 時間目	
	国語(50分)	数学(50分)	英語 「聞くこと」・ 「読むこと」・ 「書くこと」 (45分)	生徒質問紙 (20～45分程度)

文 科 省 指 定 日	5 限目
	英語 「話すこと」

2. 令和5年度 熊取町の各教科の結果

令和5年度の教科に関する調査は、国語、算数・数学に加えて、4年ぶりに英語が実施された。

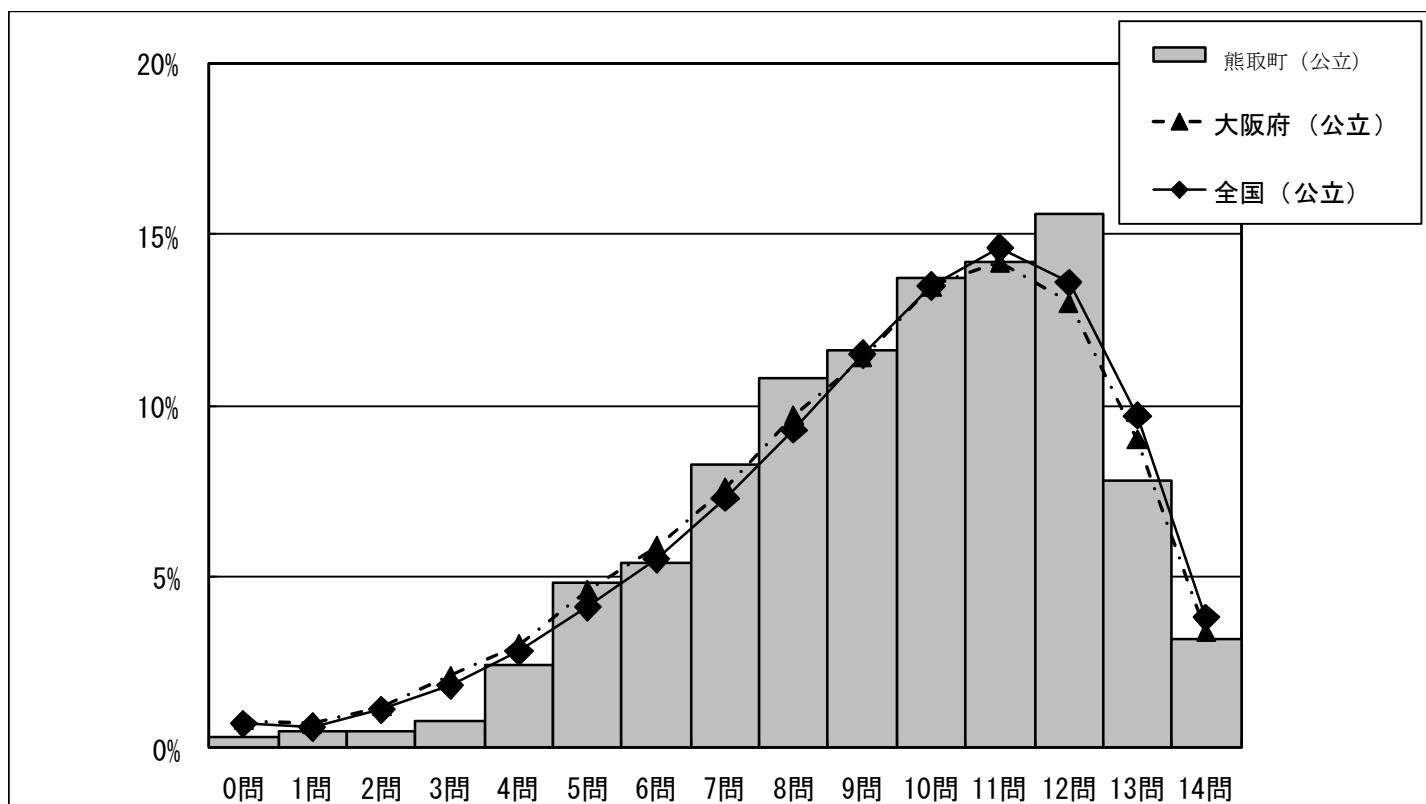
今回の調査結果から、これまでの調査で見られた課題について改善傾向が見られたものがある一方、「問題場面に応じて自分の考えを深めて表現すること」や「根拠を明らかにしながら筋道を立てて説明すること」などに、課題が見られた。また、英語においては、「概要や要点を捉える」ことに課題が見られる。

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育活動における取組みの成果と課題を検証し、その改善を図っていく必要がある。

小学校及び中学校の調査結果は次のとおりである。

小学校 国語

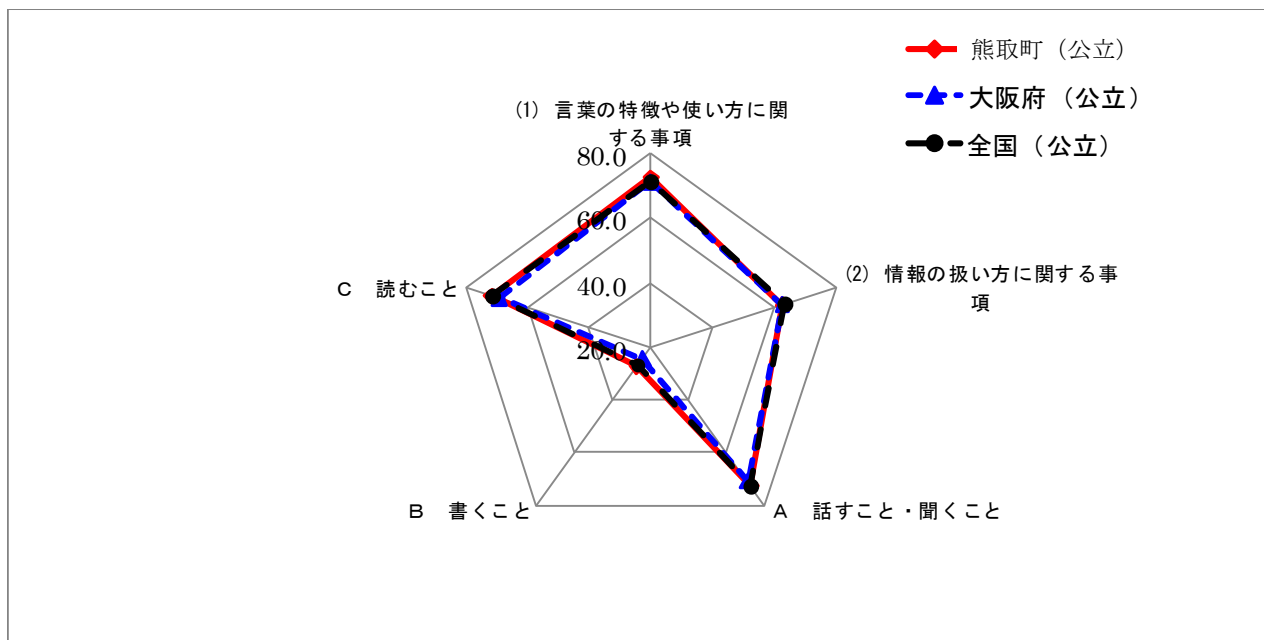
小学校国語正答数分布グラフ



- 熊取町の平均正答率は、全国平均・大阪府平均を上回る結果となった。
- 平均無解答率は、全国平均・大阪府平均より低かった。

学習指導要領の内容別平均正答率の状況

- 熊取町・大阪府・全国の差を明らかにするために、スケールの最小値を20%、最大値を80%とした。
- レーダーチャートの描くラインは、全国・大阪府の状況と概ね同傾向を示している。

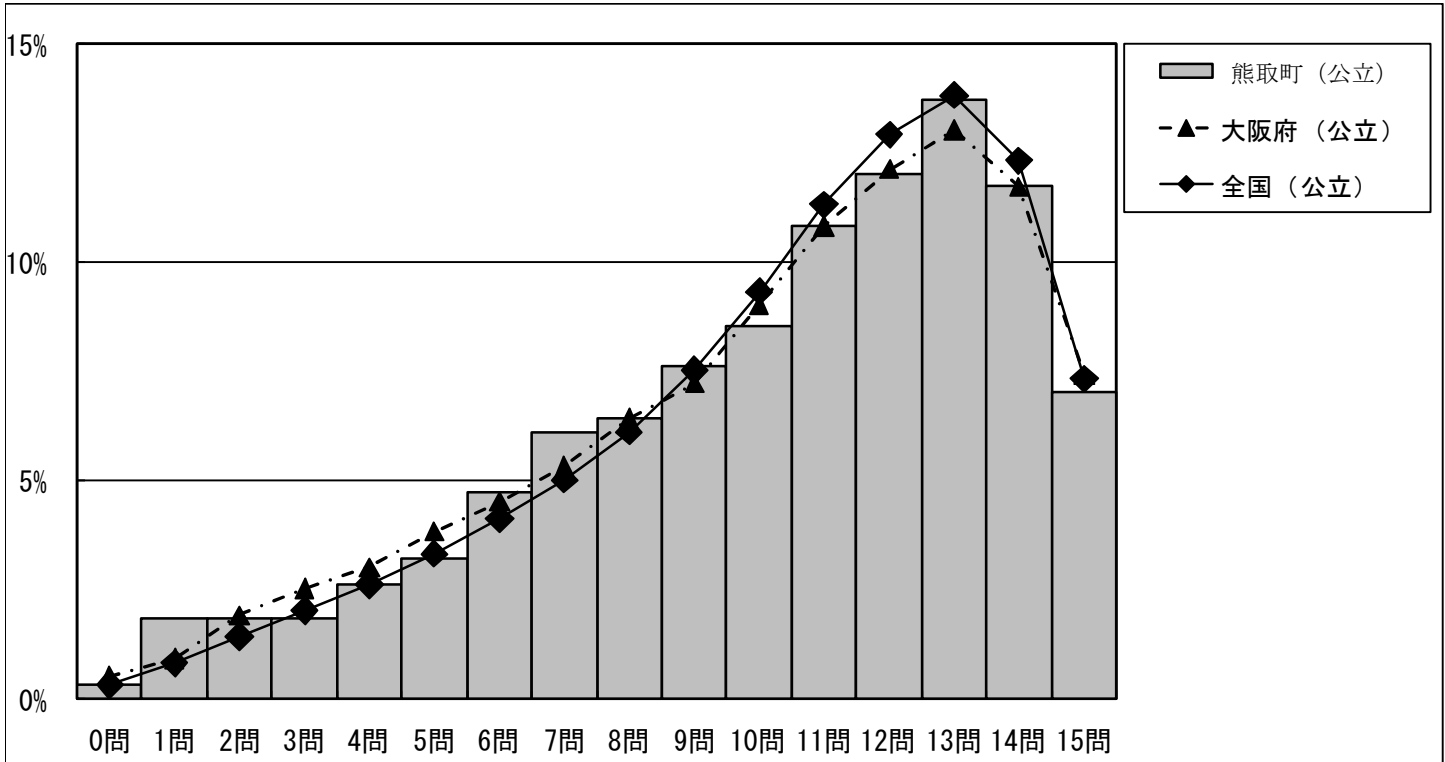


分類	区分	対象問題数 (問)	全国・大阪府との比較
	全体	14	全国・大阪府を上回っている
学習指導要領 の内容	言葉の特徴や使い方 に関する事項	5	全国・大阪府を上回っている
	情報の扱い方 に関する事項	2	大阪府と同じ、全国を下回っている
	話すこと・ 聞くこと	3	大阪府を上回り、全国を下回っている
	書くこと	1	全国・大阪府を上回っている
	読むこと	3	全国・大阪府を上回っている

概ねできているもの	課題が見られるもの
<ul style="list-style-type: none"> 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる 文章の種類とその特徴について理解している 目的を意識して、中心となる話や文を見付けて要約することができる 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる 日常よく使われる敬語を理解している

中学校 国語

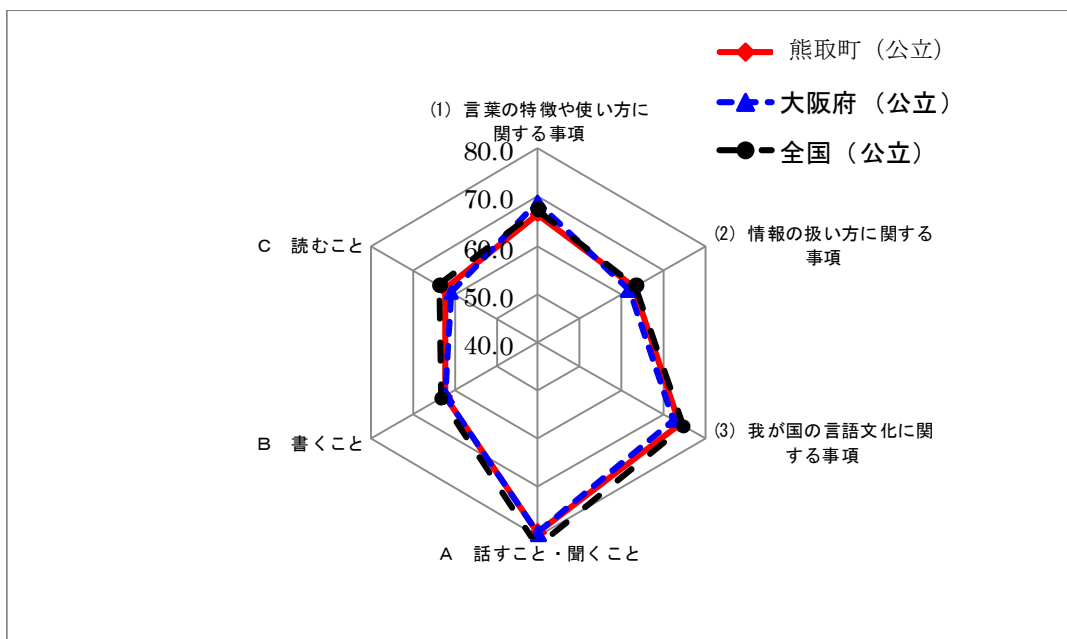
中学校国語正答数分布グラフ



- 熊取町の平均正答率は、大阪府平均と同じで、全国平均を下回る結果となった。
- 平均無解答率は、大阪府平均より低く、全国平均より高かった。

学習指導要領の内容別平均正答率の状況

- 全国、大阪府、熊取町の差を明らかにするために、スケールの最小値を 40%、最大値を 80%とした。
- レーダーチャートの描くラインは、全国、大阪府の状況と概ね同傾向を示している。

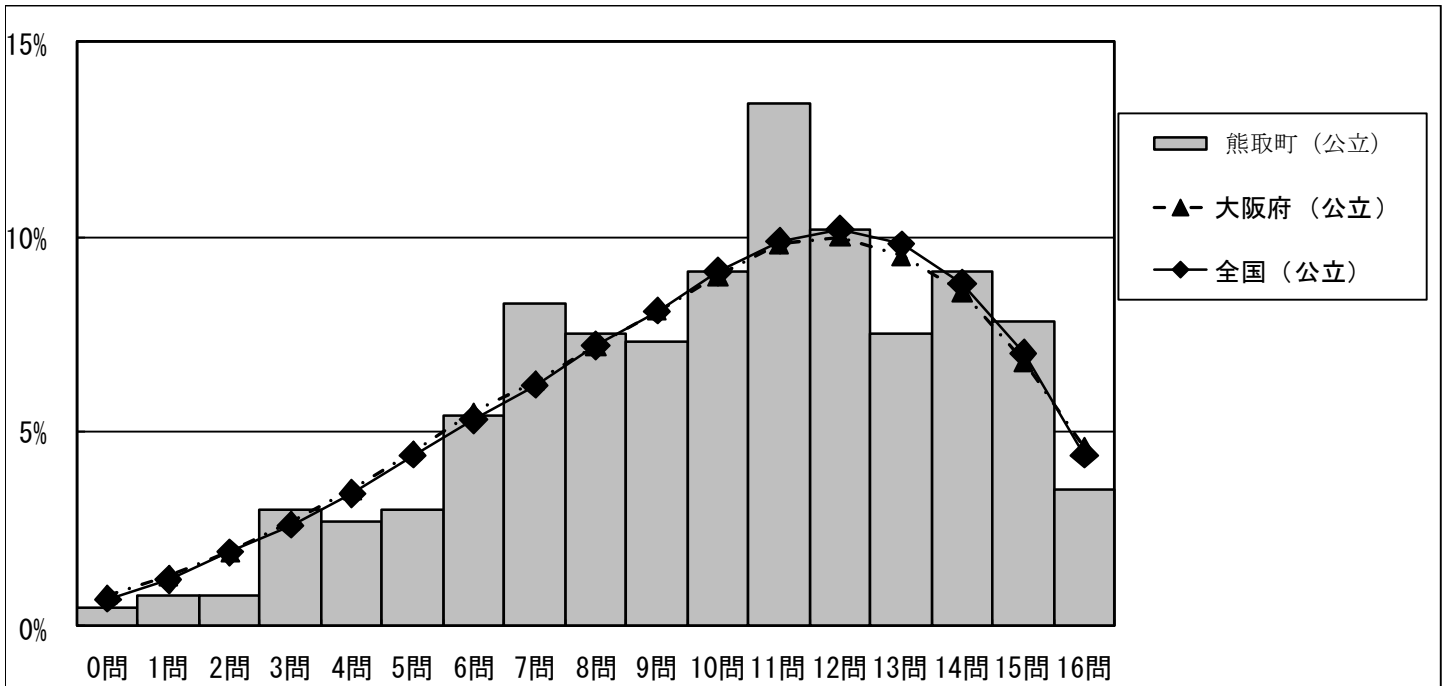


分類	区分	対象問題数 (問)	全国・大阪府との比較
	全体	15	大阪府と同じ、全国を下回っている
学習指導要領 の内容	言葉の特徴や使い方 に関する事項	2	全国・大阪府を下回っている
	情報の扱い方 に関する事項	2	大阪府を上回り、全国を下回っている
	我が国の言語文化 に関する事項	3	大阪府を上回り、全国を下回っている
	話すこと・ 聞くこと	3	全国・大阪府を下回っている
	書くこと	2	大阪府を上回り、全国を下回っている
	読むこと	4	大阪府を上回り、全国を下回っている

概ねできているもの	課題が見られるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる ・事象や行為、心情を表す語句について理解している ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を加え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができる ・観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える ・読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる

小学校 算数

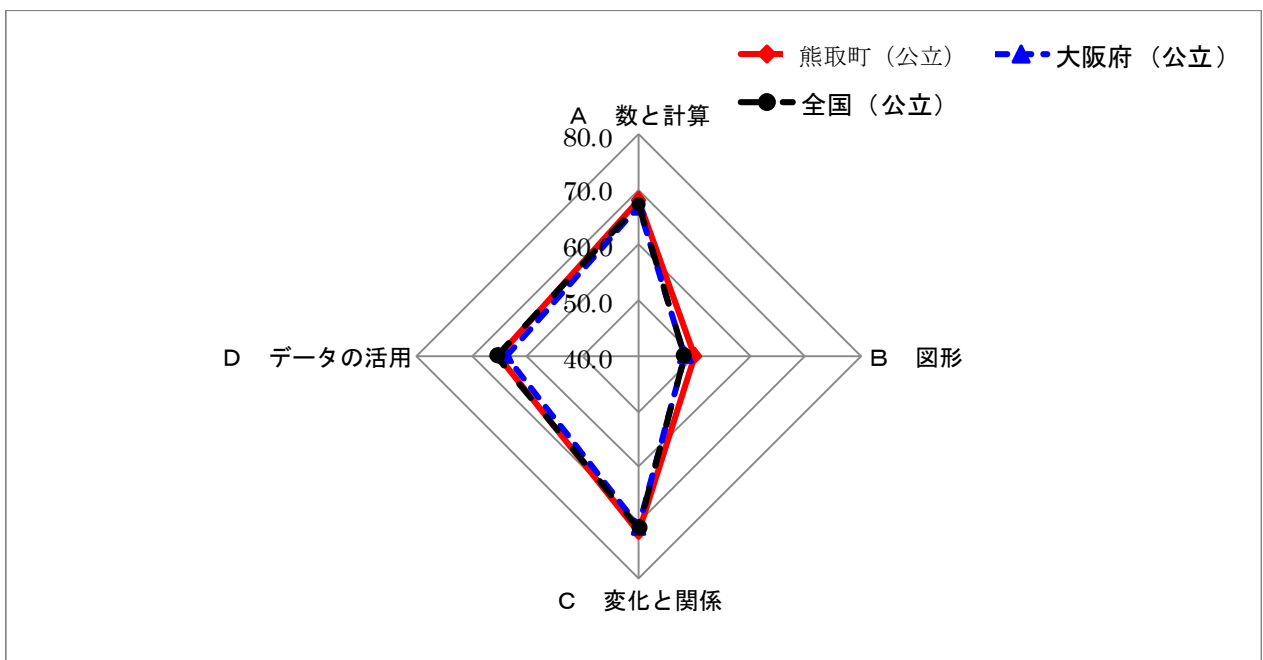
小学校算数正答数分布グラフ



- 熊取町の平均正答率は、全国平均・大阪府平均を上回る結果となった。
- 平均無解答率は、大阪府平均より低かったが、全国平均より少し高かった。

学習指導要領の領域別平均正答率の状況

- 熊取町、大阪府、全国の差を明らかにするために、スケールの最小値を40%、最大値を80%とした。
- レーダーチャートの描くラインは、全国、大阪府の状況と概ね同傾向を示している。

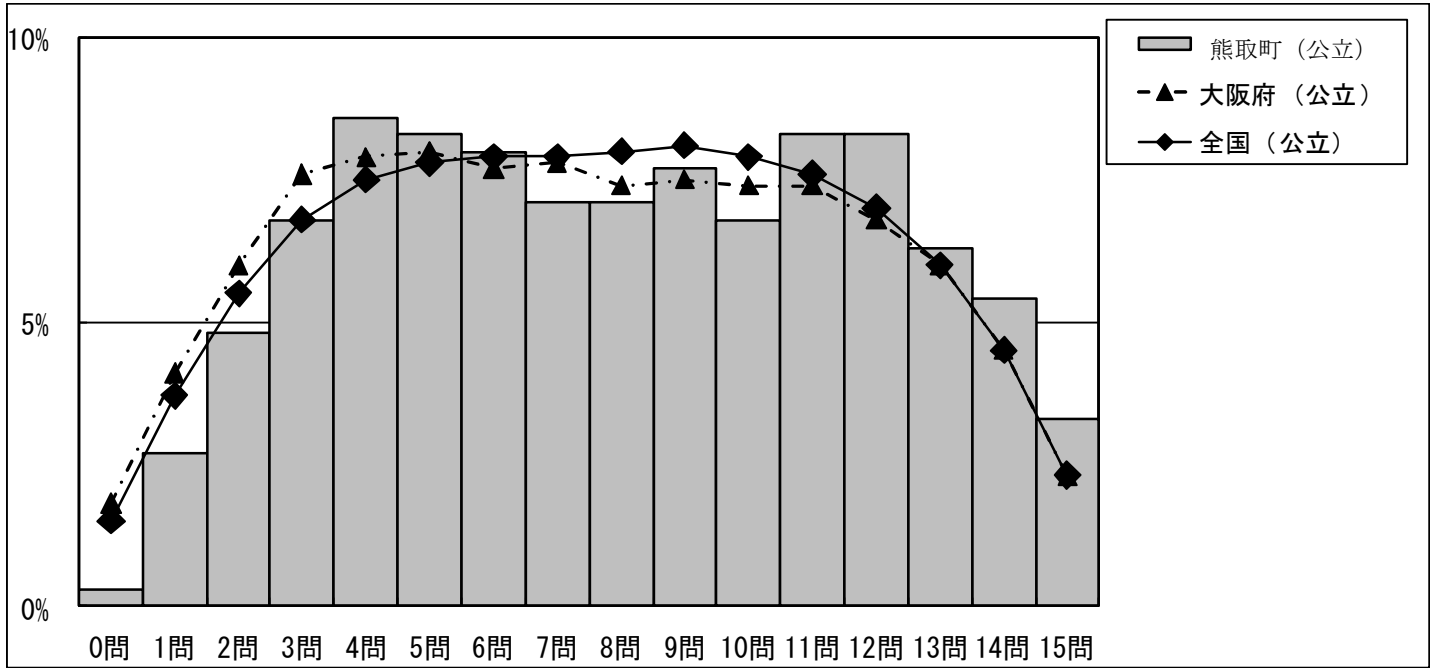


分類	区分	対象問題数 (問)	全国・大阪府との比較
	全体	16	全国・大阪府を上回っている
学習指導要領の 領域	数と計算	6	全国・大阪府を上回っている
	図形	4	全国・大阪府を上回っている
	変化と関係	4	全国・大阪府を上回っている
	データの活用	3	大阪府を上回り、全国をやや下回っている

概ねできているもの	課題が見られるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる ・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる ・正方形の意味や性質について理解している ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・正三角形の意味や性質について理解している ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる ・(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる ・百分率で表された割合について理解している

中学校 数学

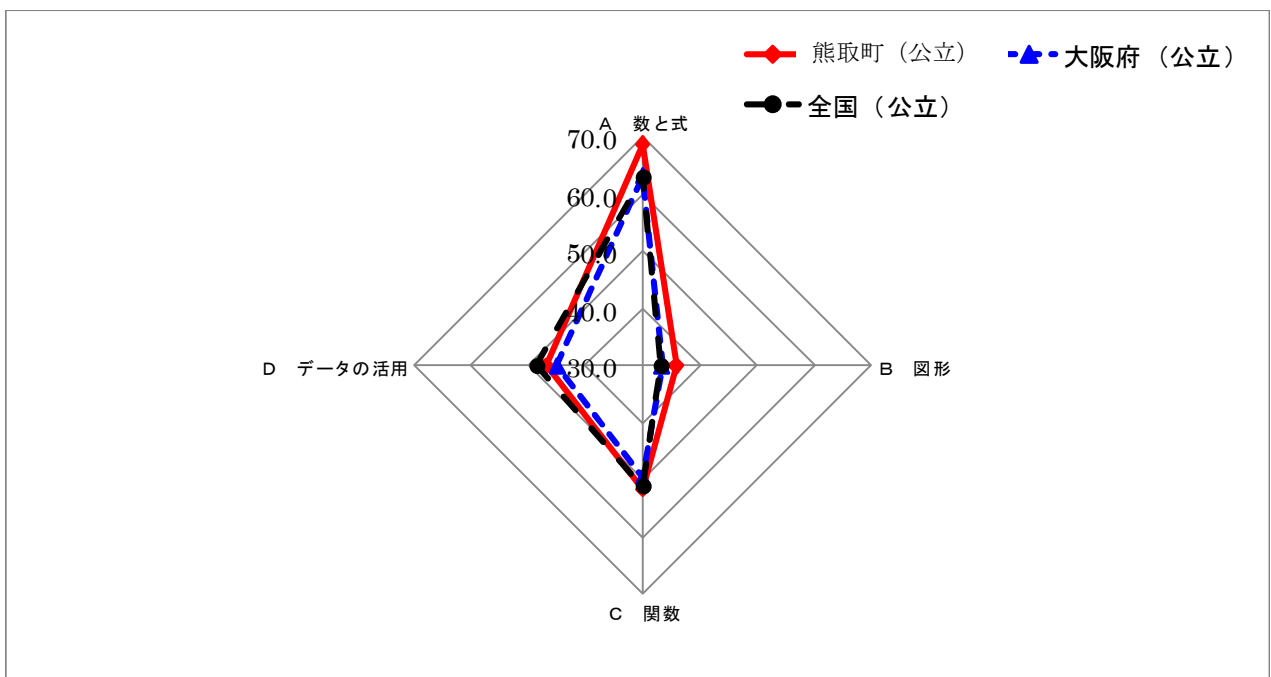
中学校数学正答数分布グラフ



- 熊取町の平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回る結果となった。
- 平均無解答率は、全国平均・大阪府平均より低かった。

学習指導要領の領域別平均正答率の状況

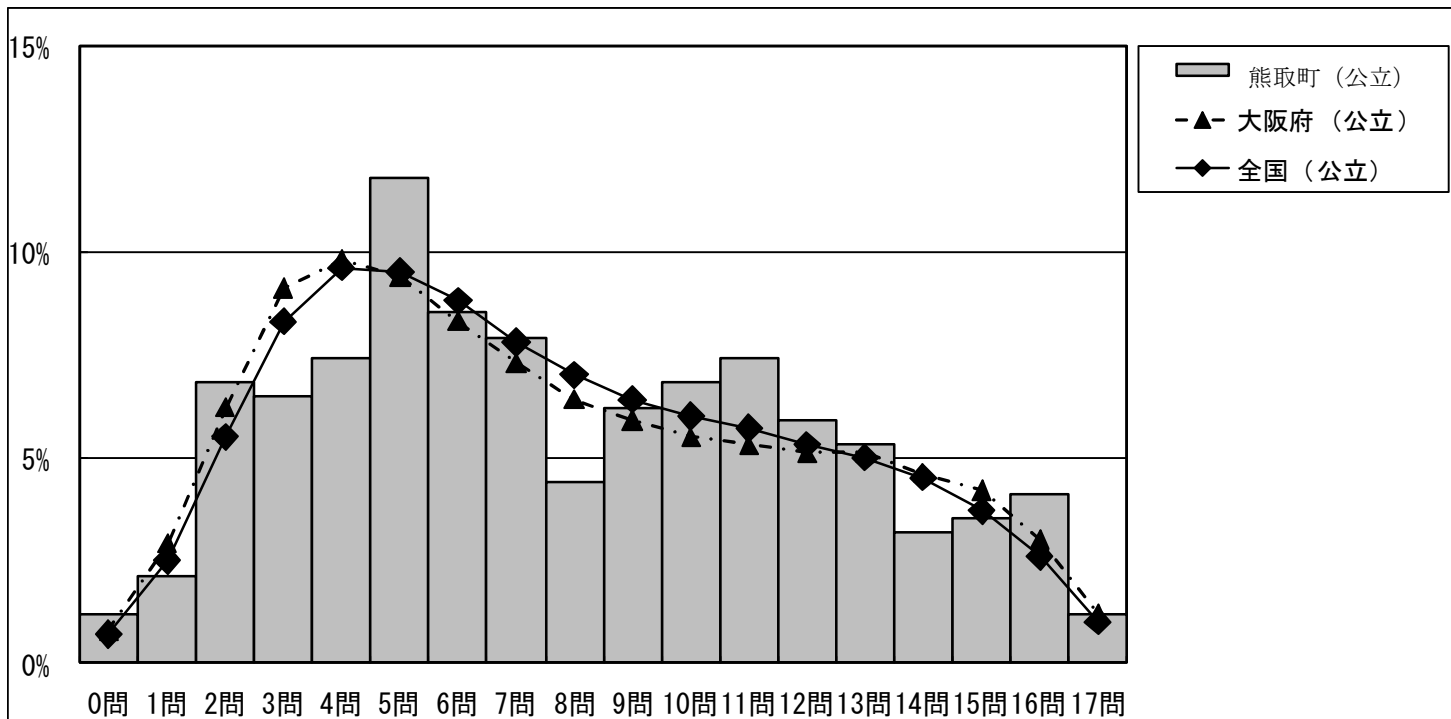
- 全国、大阪府、熊取町の差を明らかにするために、スケールの最小値を30%、最大値を70%とした。
- レーダーチャートの描くラインは、全国、大阪府の状況と概ね同傾向を示している。



分類	区分	対象問題数 (問)	全国・大阪府との比較
全体		15	全国・大阪府を上回っている
学習指導要領の 領域	数と式	5	全国・大阪府を上回っている
	図形	3	全国・大阪府を上回っている
	関数	4	全国・大阪府を上回っている
	データの活用	3	大阪府を上回り、全国を下回っている

概ねできているもの	課題が見られるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる ・四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・累積度数の意味を理解している ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる

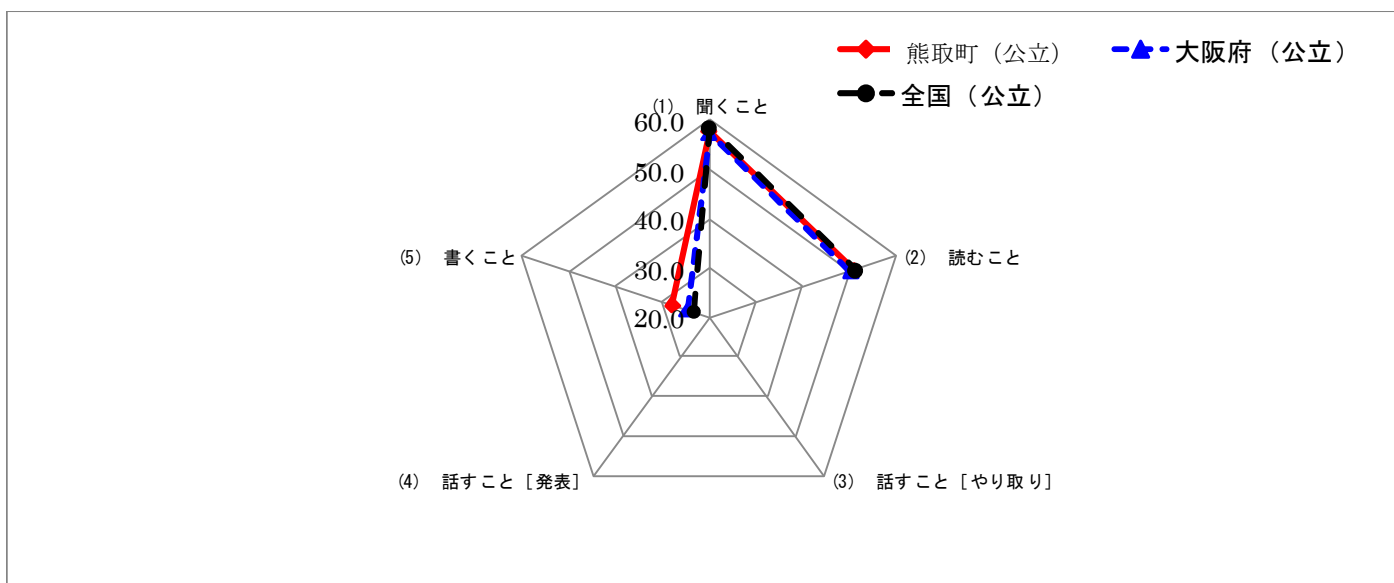
中学校英語正答数分布グラフ



- 熊取町の平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回る結果となった。
- 平均無解答率は、大阪府平均を下回り、全国平均よりやや高かった。

学習指導要領の領域別平均正答率の状況

- 全国、大阪府、熊取町の差を明らかにするために、スケールの最小値を20%、最大値を60%とした。
- レーダーチャートの描くラインは、全国、大阪府の状況と概ね同傾向を示している。



分類	区分	対象問題数 (問)	全国・大阪府との比較
全体		17	全国・大阪府を上回っている
学習指導要領の 領域	聞くこと	6	大阪府を上回り、全国を下回っている
	読むこと	6	大阪府を上回り、全国を下回っている
	話すこと 「やりとり」	0	
	話すこと 「発表」	0	
	書くこと	5	全国・大阪府を上回っている

概ねできているもの	課題が見られるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に聞き取ることができる ・「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる ・社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる ・社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる ・日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる

英語「話すこと」に関する調査の結果については、文部科学省より当日実施校の結果から推定される全国値のみしか公表されないことから、今年度は分析の対象としない。

3. 学力調査から明らかになった課題と今後の取り組み

1 二 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるところかどうかを見る。
 【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の [] に学校の米作りの問題点とその解決方法について書くこととしています。あなたが川村さんなら、 [] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

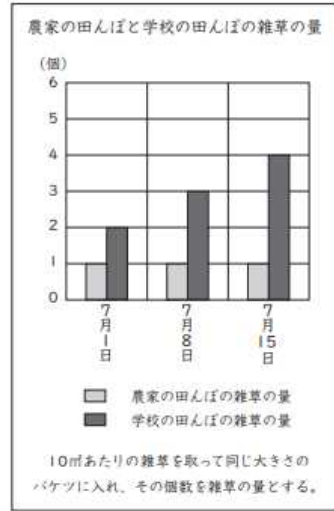
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと イくらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

	全国	大阪府	熊取町
正答率	26.7	24.2	27.2
無解答率	7.1	7.6	4.6

思考力、判断力、表現力等 [B 書くこと] 記述式

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。



自分の考えを分かりやすく伝えるためには、例えば図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示する等をして、図表やグラフなどを用いると自分にとっても相手にとってもよく理解できるものになるということを子どもたちが実感することが大切である。

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。
 相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものととして適切なものを選択する。

町課題②

三 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話の話を聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線をつないだりして整理している「資料3」です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることで、^の脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気がかかりにくくなります。

〈栄養素の主な働き〉

- 主にエネルギーのもとになる
- 主に体をつくるもとになる
- 主に体の調子を整えるもとになる

1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

	全国	大阪府	熊取町
正答率	62.0	62.0	59.7
無解答率	1.6	1.8	1.1

知識及び技能〔情報の扱い方に関する事項〕選択式

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。



情報と情報との関係を捉えながら、語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句とを線でつないだりするなど、情報の関係を表す方法を指導することが大切である。様々な情報の整理の仕方を提示した上で、児童が自分の目的に合った方法を選ぶことができるように指導すると効果的である。

3 三 **日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。**
 敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の
 空欄に入る内容として適切なものを選択する。

三 谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の【谷さんのノートの一部】の ア と イ に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【谷さんのノートの一部】

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

〇〇さんが ア ことを、もう一度 イ 聞いていますか。

- | | | | | |
|---|---|--------|---|---------|
| 1 | ア | おっしゃった | イ | うかがって |
| 2 | ア | 申した | イ | お聞きになって |
| 3 | ア | おっしゃった | イ | お聞きになって |
| 4 | ア | 申した | イ | うかがって |

	全国	大阪府	熊取町
正答率	57.6	57.6	52.4
無解答率	9.5	10.3	11.8

知識及び技能〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕選択式

日常よく使われる敬語を理解することに引き続き課題がある。



日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切である。話したり聞いたりする活動を通して、敬語の使い方について理解できるようにしたり、学校行事や来客時に敬語の使い方を確認したりするなどして指導すると効果的である。

2-2 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える。

二つの文章に共通する表現の効果を説明したものと、適切なものを選択する。

二「A」と「B」の文章に共通している表現の効果を説明したものと、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 主張に関わる言葉を引用することで、伝えたいことを印象付けている。
- 2 敬体でいいねいに述べることで、伝えたいことを身近に感じさせている。
- 3 問いかけを用いることで、伝えたいことに興味をもたせている。
- 4 冒頭の一文に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。

	全国	大阪府	熊取町
正答率	63.0	59.4	58.5
無解答率	0.4	0.5	0.6

思考力、判断力、表現力等〔C 読むこと〕選択式

「表現の効果」という観点で二つの文章を比較し、共通点について考えることに課題がある。



説明的な文章において表現の効果について考える際には、文章で述べられている内容を確認した上で、文章のどの部分にどのような表現の工夫が見られるか捉えることが必要である。構成や展開、引用や事例の示し方、文末表現や文体などに着目し、それらの工夫が文章の内容を伝えたり印象づけたりする上で、どのように働いているかを考えることが必要である。

3
1 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。
レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。

「山田さんは、「1. はじめに」の〇〇〇〇〇〇部「もち」を「もつたため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。」

- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

「判じ絵」について

山田 光一

1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

「下書きの一部」

	全国	大阪府	熊取町
正答率	54.3	54.7	54.1
無解答率	0.6	0.5	0.6

知識及び技能〔情報の扱い方に関する事項〕 選択式

読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方を確かめて、文章を整えることに課題がある。



書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように指導することが引き続き大切である。推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する学習活動が考えられる。その際、叙述の仕方などを直したことで、伝えようとするものが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って確かめることが重要である。

具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
 「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容の
 まとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のましま
 りに付ける見出しを書く。

三 山田さんは、「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章の内容のましまりで二つに分け、後半のましまりには付けた内容
 と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。ま
 た、後半のましまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの

と意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものなのである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。

(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。



【図1】サル

	全国	大阪府	熊取町
正答率	61.8	59.7	58.5
無解答率	2.1	2.3	1.5

知識及び技能〔情報の扱い方に関する事項〕 短答式

「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のましまりで適切に分けることはできているが、(ウ)以降の内容に共通する要素を抽出し、見出しを考えて書くことができていない。



具体と抽象の関係を理解するためには、それぞれの言葉の意味を捉えた上で、具体と抽象が、状況や必要に応じて使い分けられていることを理解することが重要である。

事実や調べたことを基に自分が考えたことを伝える文章を書く際に、段落相互の関係を具体と抽象の関係という観点で見直し、文章の構成や展開を検討したり、内容で分けた文章のましまりに小見出しを付けたりする学習活動等の検討が必要である。

1 四 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
 インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。

四 「インタビューの様子」の□で雨さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「インタビューの様子」から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

	全国	大阪府	熊取町
正答率	82.5	78.1	79.5
無解答率	10.8	13.9	12.0

知識及び技能〔情報の扱い方に関する事項〕選択式

聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができている。



聞き取ったことを基に、自分の考えをまとめる際には、聞き取った話の内容を整理し、話し手と自分の考えとを比較したり、関連付けたりできるようにすることが重要である。そのためには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、必要に応じて重要な情報を書き留めるなど、話の内容を正確に理解できるように指導することが大切である。さらに、聞き取った話の内容を基に、自分の経験や考えとの共通点や相違点、疑問点などを整理し、自分の考えをまとめることができるようにすることも大切である。

国語の学力向上に向けての方策① 書くことの指導

目的や意図に応じて、話の内容を捉えたり、聞き取ったことを基にしたりして、自分の考えをまとめることができている。一方で、自分の考えを明確に伝わるよう、読み手の立場に立って文章を整えることや、書き表し方を工夫することに課題が見られた。

今後は、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認した上で、考えを支える根拠として示す事例等を検討し、考えと事例等との関係を明確にし、相手にとってもよく理解できる文章が記述できるように指導することが大切である。

国語の学力向上に向けての方策② 情報の扱い方に関する事項

複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり、情報と情報との関係について理解したりすることに課題がある。

今後は、「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるように指導することが大切である。

2 (3) 正三角形の意味や性質について理解している

テープを切って開いてできた三角形について、正三角形をつくるためには、Ⓐの角の大きさが 60° の半分になると捉える

	全国	大阪府	熊取町
正答率	24.9	25.6	22.8
無解答率	3.7	3.6	3.5

〔知識・技能〕【 B 図形 】 短答式

テープを切って開いて正三角形をつくる時、正三角形の一つの角の大きさが 60° になることは理解していても、テープを切って開いたことに着目できていなかった。示された操作によってできる三角形の求める角がどの部分なのかを捉えることに課題があると考えられる。



低学年の頃から、具体物を操作しながら図形に関りを持ち、紙を折ったり重ね合わせたりという児童の日常生活や学校生活の場面と算数の場面をつなげ、操作活動をイメージできるよう指導していくことが大切である。

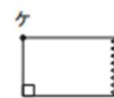
(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



④ 開くと三角形ができました。

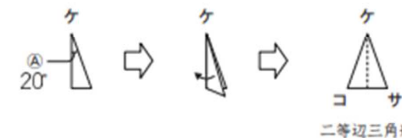


ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下のⒶの角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな

私は、Ⓐの角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたる

私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、Ⓐの角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、Ⓐの角の大きさを何度にするべきですか。

答えを書きましょう。

- 2 (4) 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する
テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く

	全国	大阪府	熊取町
正答率	20.8	20.5	25.3
無解答率	4.0	3.6	1.3

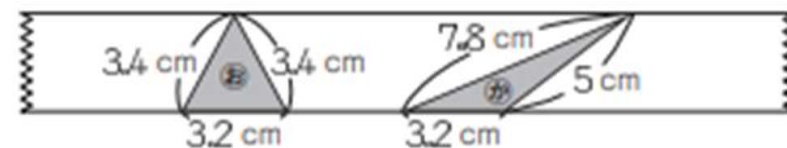
【思考・判断・表現】 【 B 図形 】 記述式

テープは平行な2つの直線を表していることに気づき、示された三角形の底辺と高さを適切に捉えることに課題がある。また、2つの三角形の面積が等しい理由を記述する上で、底辺と高さの両方に着目することに課題がある。



図形の面積の学習では、既習事項をいかしながら、その求め方を児童が考えたり、自分たちで公式をつくったりする過程を重視する。図形の構成要素に着目することから、図形への理解を深め、図形についての豊かな感覚の育成をめざしたい。

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくれます。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

4 (1) 百分率で表された割合について理解している

百分率で表された割合である30%について、100人や10人を基準量としたとき、それらに対する比較量を捉える

	全国	大阪府	熊取町
正答率	46.0	46.3	46.8
無解答率	2.4	2.5	2.7

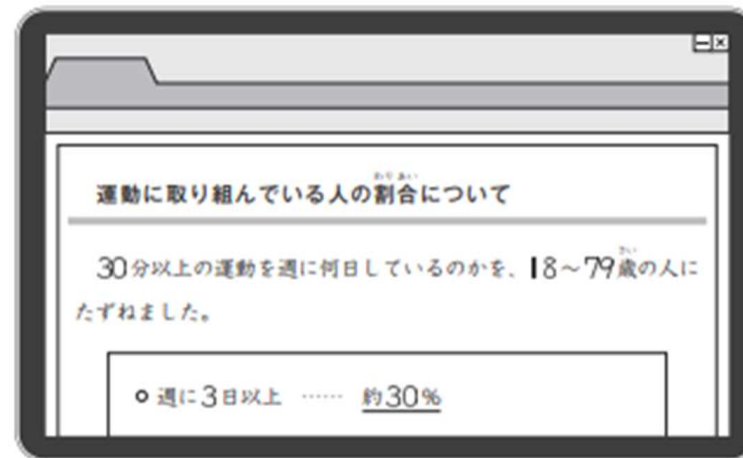
【知識・技能】【C 変化と関係】選択式

示された割合から、基準量に応じて、それに対する比較量を適切に捉えることに課題がある。



問題場面における二つの数量関係に着目し、問題の条件や割合の求め方を基に、何を基準量とし、何を比較量とするかなど、問題場面の把握を丁寧に行い、筋道を立てて考えていくことが大切である。また、数量の関係を数直線図などの図で表し、図、式、言葉をつなげて考えたり、自分の考えを説明したりという数学的活動を行うことが大切である。そして、児童が割合のよさを感じられるよう、単元計画を工夫していくことが必要である。

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

1 (1) 伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める

重ねられたいすの数と高さの関係を表から読み取り、5脚のいすを重ねたときの高さを求める

	全国	大阪府	熊取町
正答率	93.5	93.4	93.8
無解答率	0.8	1.0	0.3

【知識・技能】 【C 変化と関係】 短答式

伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。



いすの数が増えると、いすの高さも高くなるという二つの数量の関係を表に表し、その表から規則性について見つけ出すことをよく理解できている。また、学習指導の際に、児童が問題場面をイメージしやすいように、指導者が生活に関連した場面を設定し、問題提示の工夫をしている効果がよく表れている。

1

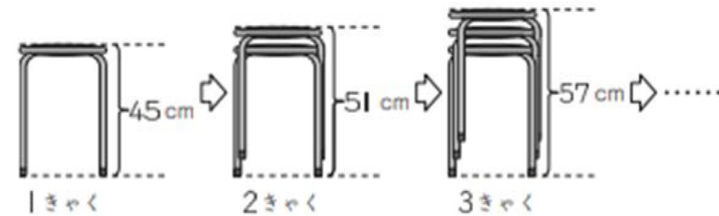
同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたづけのために、下のように重ねています。



1 脚のいすの高さは、45 cm です。

下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (脚)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にあてはまる数を書きましょう。

7 (2) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる

	全国	大阪府	熊取町
正答率	33.6	28.4	28.3
無解答率	22.8	27.3	20.8

【思考・判断・表現】 【D データの活用】 記述式

説明する際には、「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」ことが主張できる根拠として、1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の黄葉日の方が右側にあることを記述する必要がある。箱ひげ図から読み取れることのみを記述しており、位置が異なることについての記述が十分でなかったり、2つの箱ひげ図を比較する記述がなかったりしている。



四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができるような数学的活動を授業に取り入れることが必要である。28

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

5 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を
求める

累積度数の意味を理解しているかどうかを見る

	全国	大阪府	熊取町
正答率	46.1	43.6	38.4
無解答率	11.0	12.8	8.9

【知識・技能】 【D データの活用】 短答式

累積度数は、度数分布表やヒストグラムを用いてデータの傾向を読み取る際に必要である。「階級の度数」や「階級の相対度数」を求めていたり、度数の合計を階級の度数でわった商を求めていたり、「累積度数の意味」の理解に課題が見られた。



不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面においては、「情報を分類したり整理したりすること」や「累積度数の意味を理解していること」が必要である。ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解するための数学的活動を取り入れていくことが必要である。 29

5 ある市の中学生の水泳大会における女子50m自由形に出場した40人の記録を調べました。調べた結果を、次の累積度数を含めた度数分布表に整理します。

女子50m自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	ア
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	<input type="text"/>

女子50m自由形の記録の には最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数が入ります。 に入る値を求めなさい。

9 (2) 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く

条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる

	全国	大阪府	熊取町
正答率	37.0	36.5	35.7
無解答率	14.2	15.5	17.3

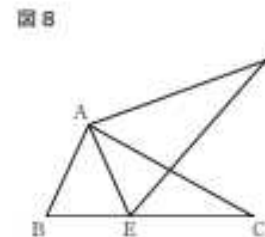
【知識・技能】【B 図形】短答式

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の $\angle EAF = \angle AEF$ が成り立たないから、 $\angle ABC = \angle EAF$ が成り立たないことを読み取ることができなかつたことによる誤答が見られた。また、無解答率がやや高くなっている。



ある事柄の条件を変えた場合について考察する場面では、証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるように指導することが必要である。

次に、優奈さんは、19ページの図1の2つの三角形を $\triangle ABC = \triangle DEF$ であることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えました。この場合も方法2でひいた2つの直線が平行になるかどうかを確認したところ、2つの直線は平行になりませんでした。なぜ平行にならなかったのかを調べるために、次の図Bをかきました。図Bの $\triangle ABC$ と $\triangle AEF$ は二等辺三角形ではなく、 $\triangle ABC = \triangle AEF$ です。



優奈さんは、図Bで $BC \parallel AF$ とならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。図Bのような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないため、 $BC \parallel AF$ となりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の I が成り立たないから、 II が成り立たない。よって、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないから、 $BC \parallel AF$ とならない。

上の I には証明1の①、②、③のどれか1つが、 II には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。 I、 II に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

7 (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求める 四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる

	全国	大阪府	熊取町
正答率	65.7	63.0	74.4
無解答率	5.6	6.8	4.2

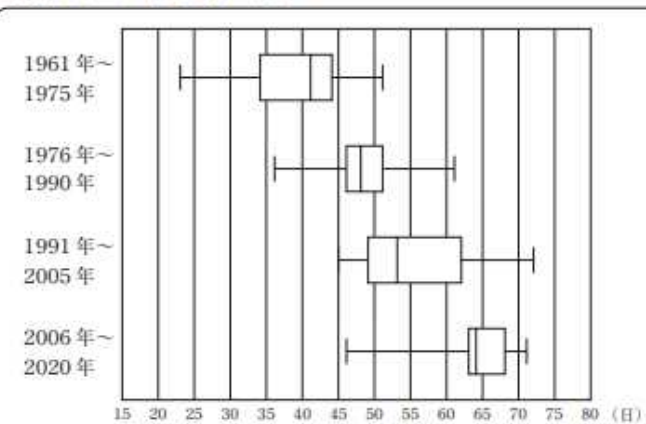
〔知識・技能〕【D データの活用】短答式

四分位範囲を、第1四分位数から第3四分位数までの区間と捉えていたり、四分位範囲と範囲を混同していたりする生徒もいるが、多くの生徒が四分位範囲の意味を理解している。



引き続き、データの分布について、数学的活動を通して、四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解することができるような指導を行う必要がある。

黄葉日までの経過日数の分布



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

算数・数学の学力向上に向けての方策①

目的を明らかにした数学的活動の充実をめざした指導

事柄を数学的に表現することは、論理的に考えを進めながら新たな知識を習得できるようにする上で大切である。

必要性と意味を理解し、言葉や数、式、図、表、グラフなど算数・数学の言語を用いて説明したり論理的に考えたりできる場面の設定を行い、算数・数学のよさを児童生徒が実感することが重要である。

算数・数学の学力向上に向けての方策②

根拠を明らかにし、見通しを持って問題解決に導く指導

ある事柄が成り立つ理由を数学的に説明する際には、説明の対象となる成り立つ事柄を明確にした上で、その根拠を明らかにすることが大切である。

児童生徒が既習事項を活用しながら、構想・見通しを立て、数学的に処理し、主体的に問題解決ができるよう指導を行うことが必要である。

7(2) 日常的な話題について、短い文章の概要をとらえることができるかどうかをみる
図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する

	全国	大阪府	熊取町
正答率	34.7	34.7	30.6
無解答率	0.7	0.8	0.6

思考力, 判断力, 表現力等 [(2) 読むこと イ] 選択式

情報の不足や偏り、内容の具体性のバランスなどを踏まえ、英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があると考えられる。



説明文を読んで概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要である。語と語の関連や代名詞、接続表現などを手掛かりにしながら、段落内の情報の関係を正確に把握することが大切である。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. I hope all of you visit our creative library.

(2) しおりさんが書いた英文の概要（文章全体の大まかな内容）として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

8(1) 社会的な話題について、短い文章の要点をとらえることができるかどうかをみる
 ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する

	全国	大阪府	熊取町
正答率	56.1	54.2	49.7
無解答率	0.8	0.8	0.3

思考力, 判断力, 表現力等 [(2) 読むこと ウ] 選択式

書き手の最も伝えたいことと、文章全体の話題や例示などとの関係性を把握することに課題があると考えられる。



意見文を読んで要点を捉えるためには、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えることが重要である。学習活動の中で、繰り返し用いられている語句や同じ内容を言い換えている表現、文章中の問いかけなどを手掛かりにして最も大切な語句や文を選んだり、段落内の文章の構成を把握したりすることが大切である。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets.

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 344 Robots can change many people's lives for the better.

8(2) 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる
 ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く

	全国	大阪府	熊取町
正答率	19.5	20.8	22.7
無解答率	29.3	32.4	33.2


思考力, 判断力, 表現力等 [(5) 書くこと ウ] 記述式

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。あるいは、筆者の問いかけに対する自分の考えは書けているが、その理由を書くことに課題がある。



読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要である。内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現する言語活動を行うことが大切である。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

9(1) ②疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる
 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように
 英文を完成させる

	全国	大阪府	熊取町
正答率	20.9	23.8	30.9
無解答率	10.9	12.2	10.9

知識及び技能〔(5) 書くこと〕短答式

誤答から、「Where do you buy」「It's buy」といった記述が見られた。これまでの指導の成果を感じるものの、一般動詞の疑問文を正確に書くことに課題があることも明らかとなった。



場面や状況に応じて正確に英文を書くためには、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが大切である。その上で、意味内容の伝達のみにとどまるのではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気付き、修正を加えながら正確さを高めていくことが必要である。

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

[答え] was doing

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

英語の学力向上に向けての方策① 読むことの指導

文章の内容は理解しているものの、説明文の「概要を捉える」ことや意見文の「要点を捉える」ことに課題があった。

まず、「概要を捉える」とは、まとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分のみにとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることのおおまかな内容を捉えることである。指導に当たっては、説明文を読んで、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることができるようにすることが大切である。

また、「要点を捉える」ためには、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えることが重要である。繰り返し用いられている語句や同じ内容を言い換えている表現、文章中の問いかけなどを手掛かりにして最も大切な語句や文を選んだり、段落内の文章の構成を把握したりすることが大切である。

英語の学力向上に向けての方策② 書くことの指導

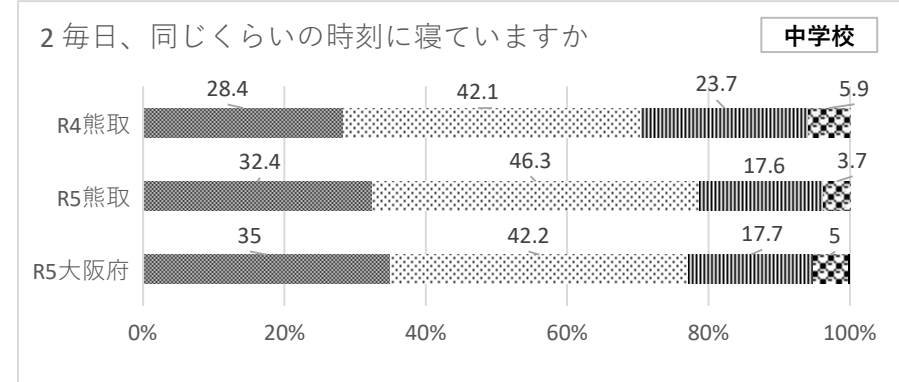
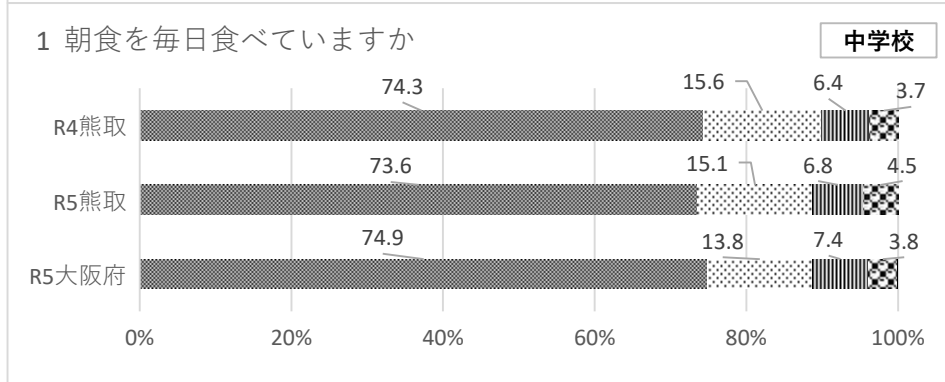
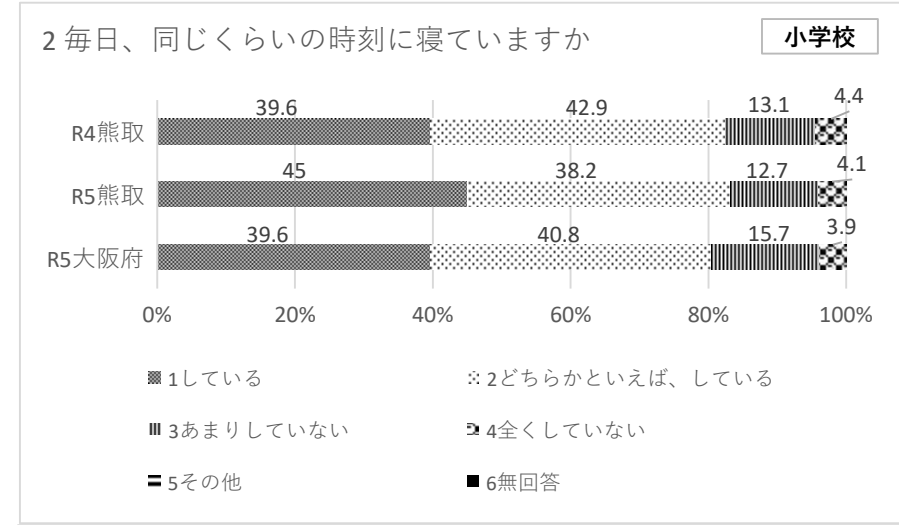
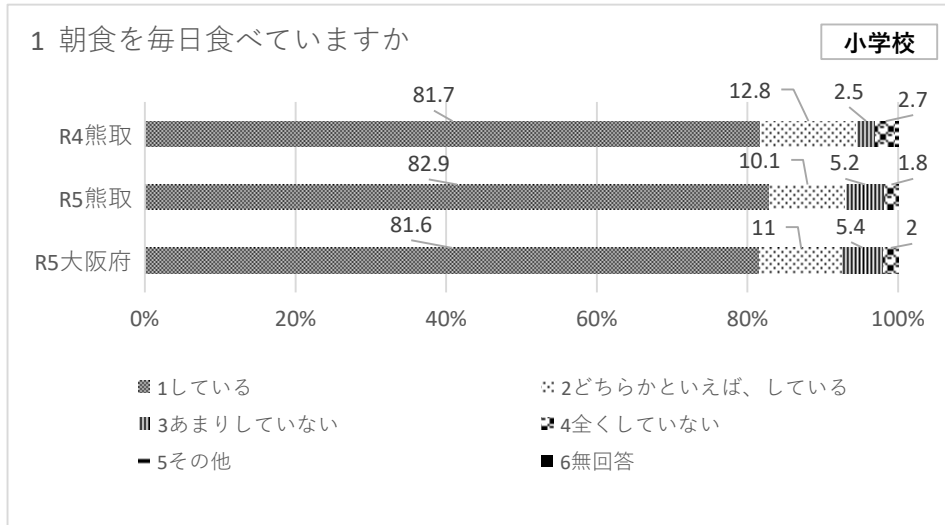
読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、まずは読む目的に応じて要点をとらえることが大前提である。その上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切である。その際、なぜそのように考えたのかという理由を考えさせたり、生徒の発話に対して教師が理由を尋ねたりするといった活動を取り入れ、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要である。 37

4. 質問紙調査の結果と分析

令和5年度の児童生徒質問紙調査の質問数は、小学校が59問、中学校が72問であった。分析を行うにあたっては、各質問を下記の表のように8項目に分類し、令和4年度の熊取町及び令和5年度の大阪府の調査結果の比較検討を行った。

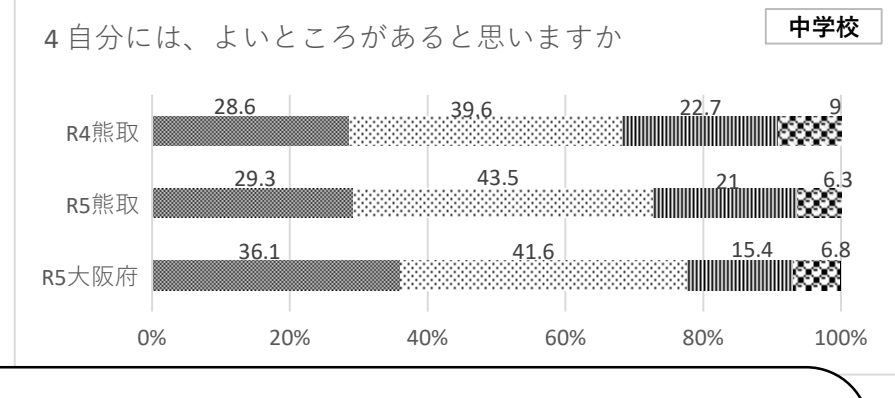
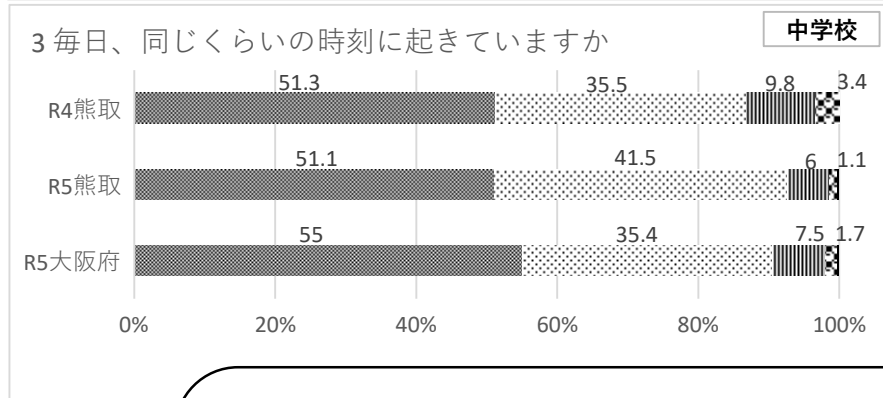
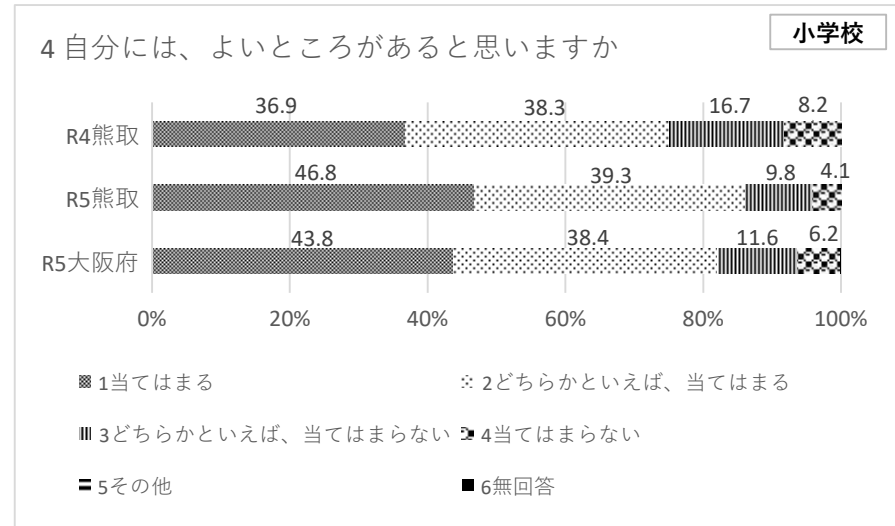
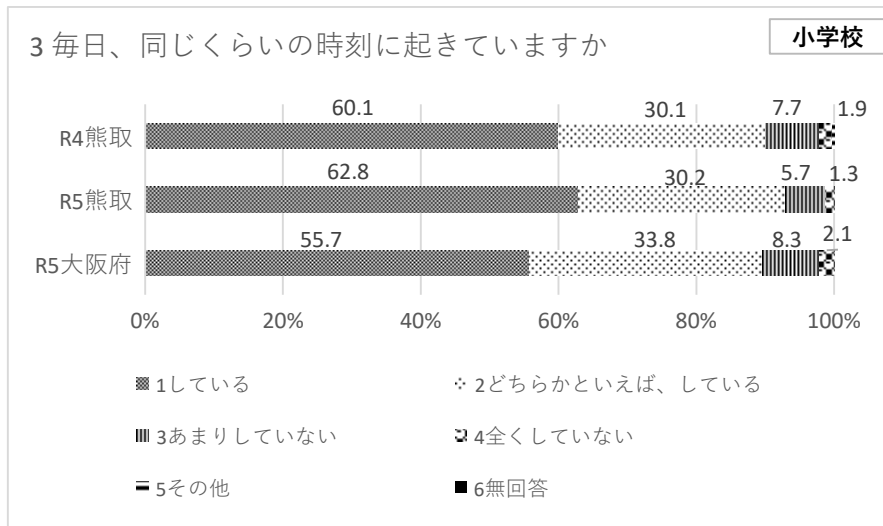
令和5年度 児童生徒質問紙調査内容の分類

分類 番号	項 目	質問番号	
		小学校	中学校
1	基本的な生活習慣等	(1) ~ (3)	(1) ~ (3)
2	挑戦心, 達成感, 規範意識, 自己有用感等	(4) ~ (15)	(4) ~ (15)
3	学習習慣, 学習環境等	(16) ~ (24)	(16) ~ (24)
4	地域や社会に関わる活動の状 況等	(25) ~ (28)	(25) ~ (32)
5	ICTを活用した学習状況	(29) ~ (31)	(33) ~ (35)
6	主体的・対話的で深い学びの視 点からの授業改善に関する取組 状況	(32) ~ (38)	(36) ~ (42)
7	総合的な学習の時間、学級活 動、特別の教科 道徳	(39) ~ (42)	(43) ~ (46)
8	学習に対する興味・関心や授業 の理解度等 (国語・算数/数学・英語)	(43) ~ (59)	(47) ~ (72)



① 基本的な生活習慣 小・中学校1～3

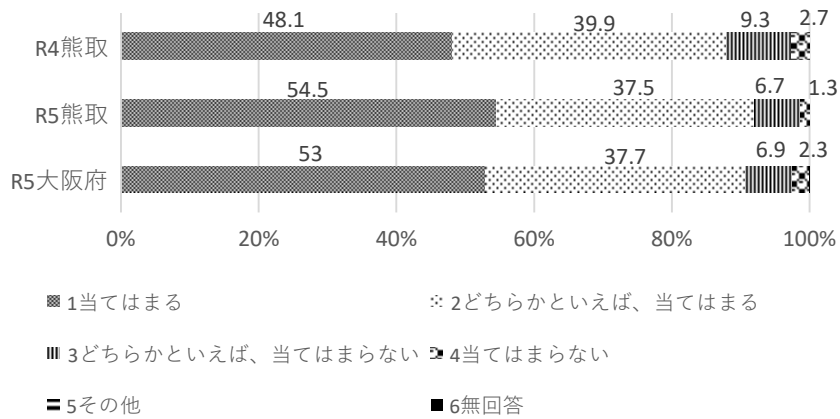
基本的な生活習慣に係る小学生への質問では、大阪府の肯定的回答よりポイントは高く、昨年度の熊取町と同等、もしくはそれ以上の回答となった。中学校の「朝食を毎日食べていますか」では、ややポイントが下がっているものの、寝る時間や起きる時間に関する質問は改善傾向が見られる。早寝早起き朝ごはんは、一日を活動的に過ごすための原動力となるものである。今後も学校と家庭が連携しながら、子どものよりよい生活リズムづくりを進めていきたい。



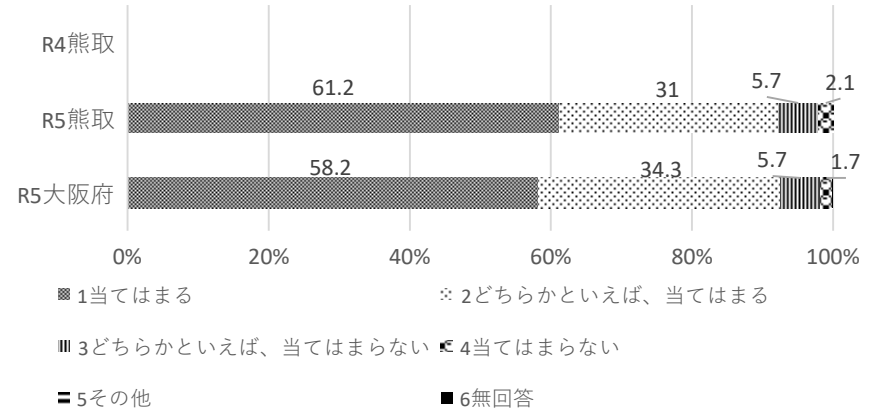
② 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感 小中学校4～15

小学校では、これまで課題としてあがっていた「自己有用感」「将来の夢や目標」の質問の肯定的回答に大きな伸びが見られ、昨年の本町のポイントからの向上だけでなく、大阪府のポイントも上回っている。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれると思いますか」のポイントも向上している。中学校においても、「自己肯定感」や「自己有用感」に関する項目で改善傾向が見られた。小学校と同様に、「先生はあなたのよいところを認めてくれると思いますか」の質問で大阪府のポイントを上回った。これらのことから、子どもたちが日々のがんばりを先生に認めてもらい、自己有用感が高めることにより、夢や目標をもって生活ができるようにと、つなげていきたい。

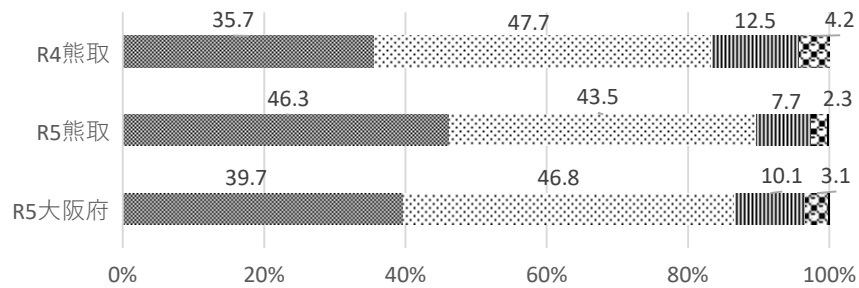
5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか **小学校**



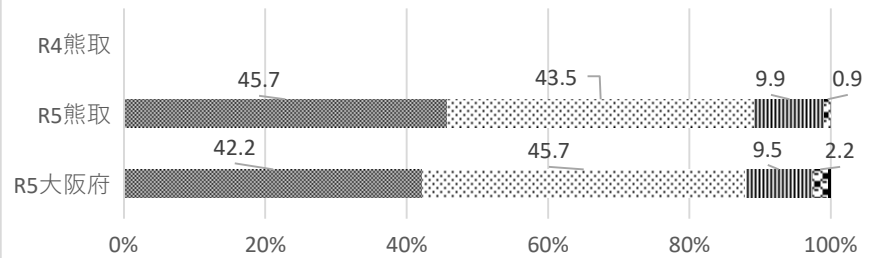
6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか **小学校**



5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか **中学校**

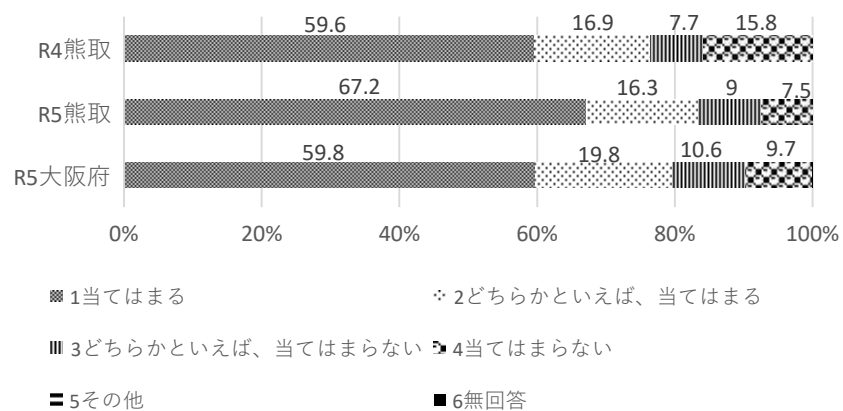


6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか **中学校**



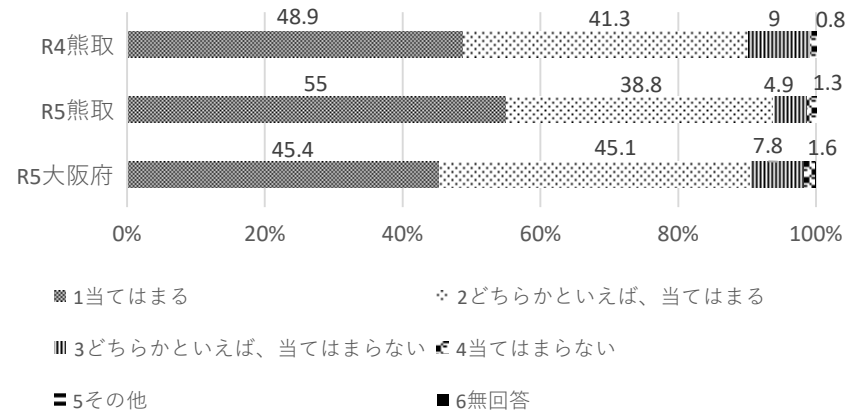
7 将来の夢や目標を持っていますか

小学校



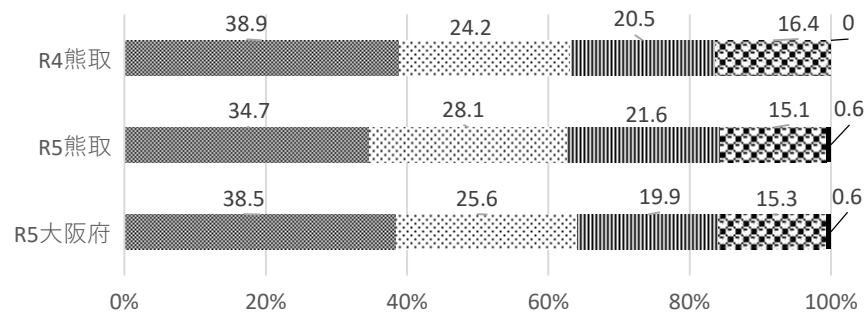
8 人が困っているときは、進んで助けていますか

小学校



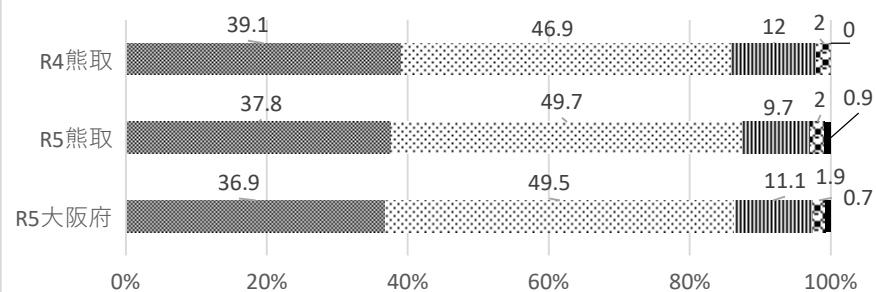
7 将来の夢や目標を持っていますか

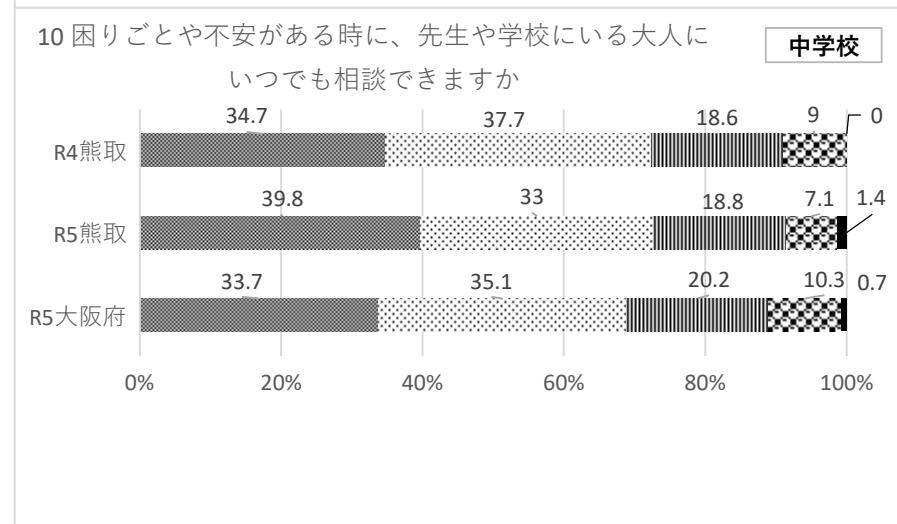
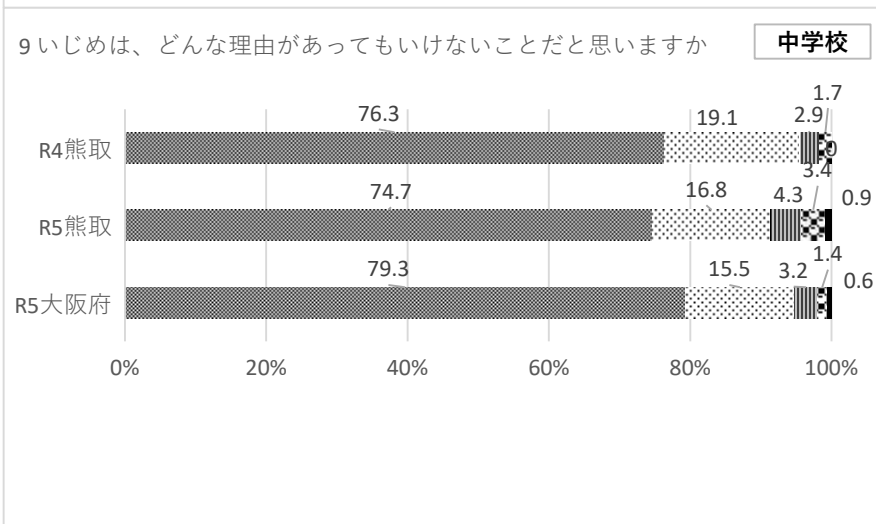
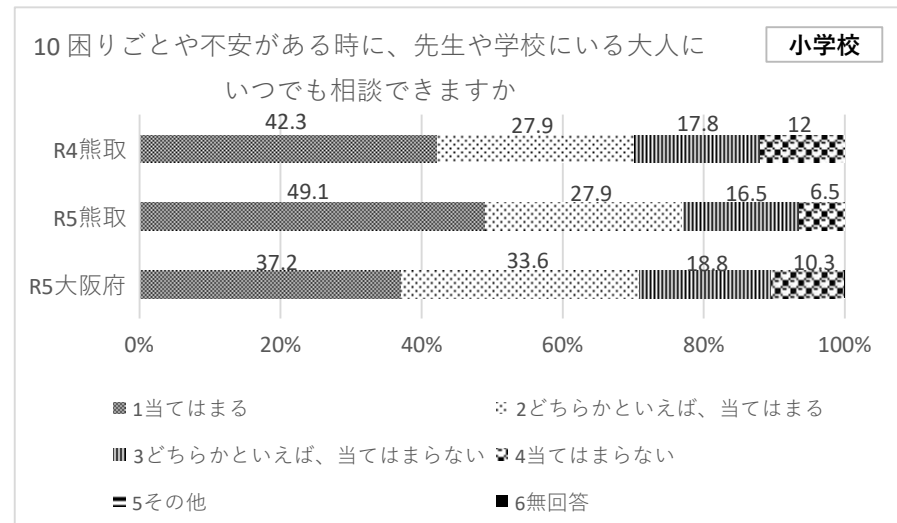
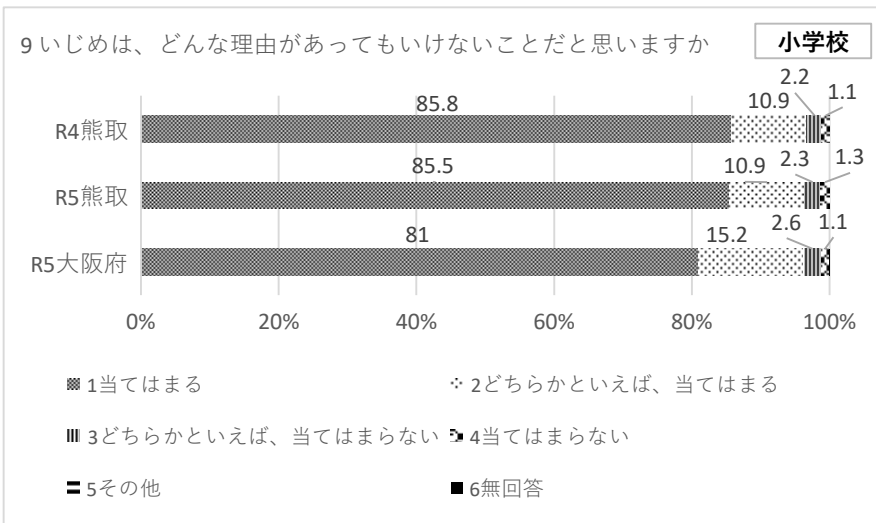
中学校

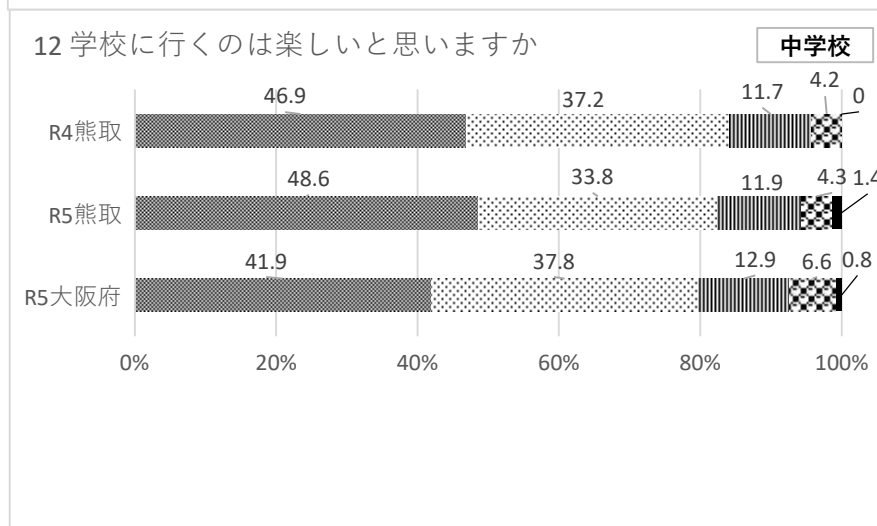
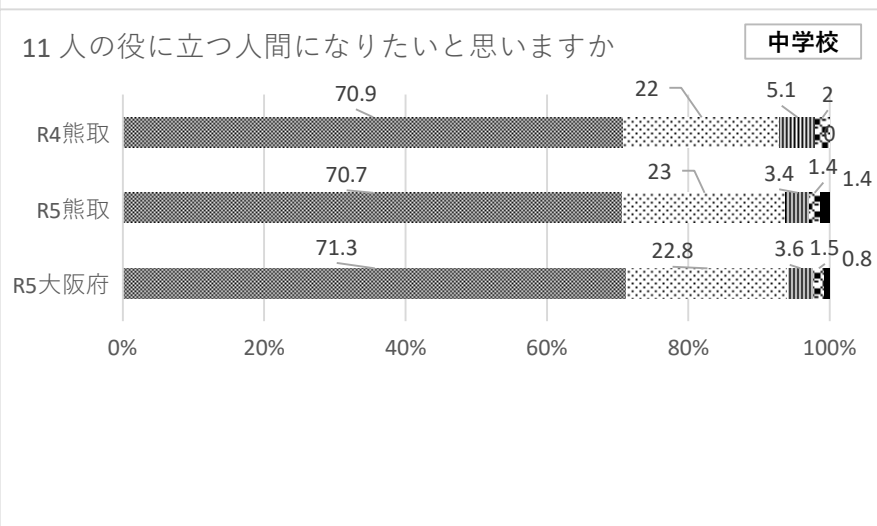
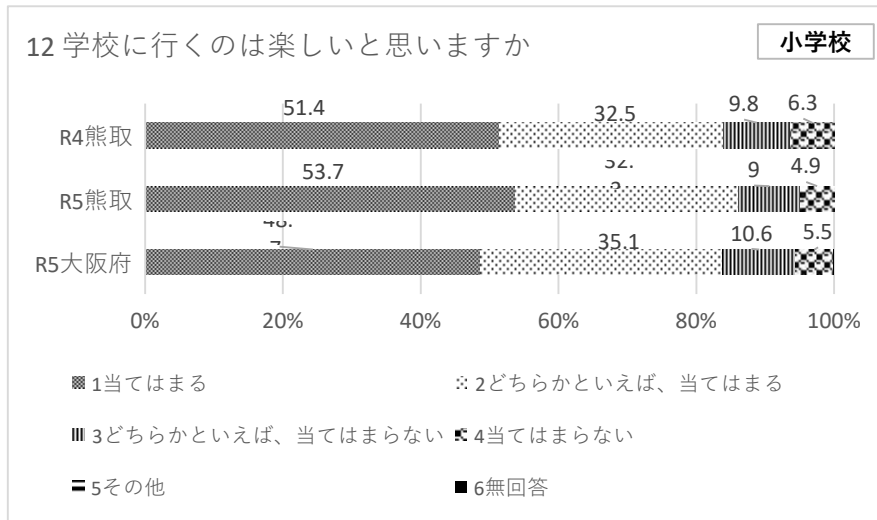
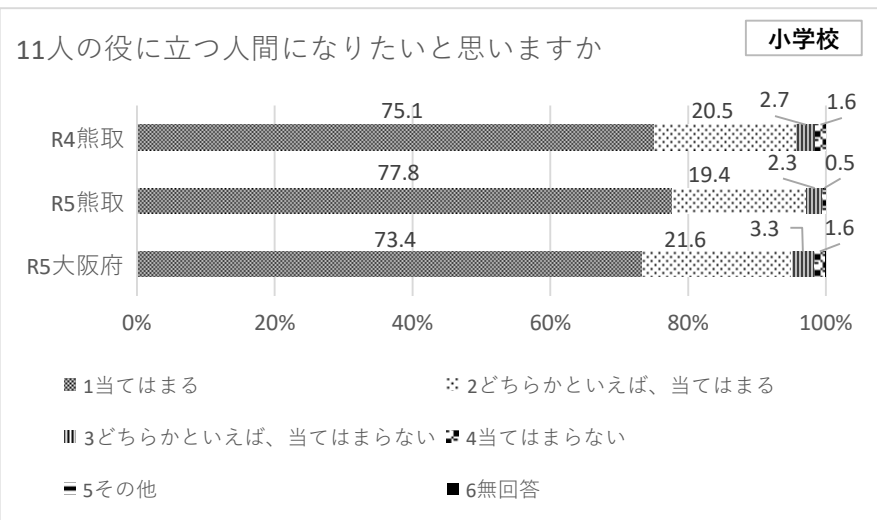


8 人が困っているときは、進んで助けていますか

中学校

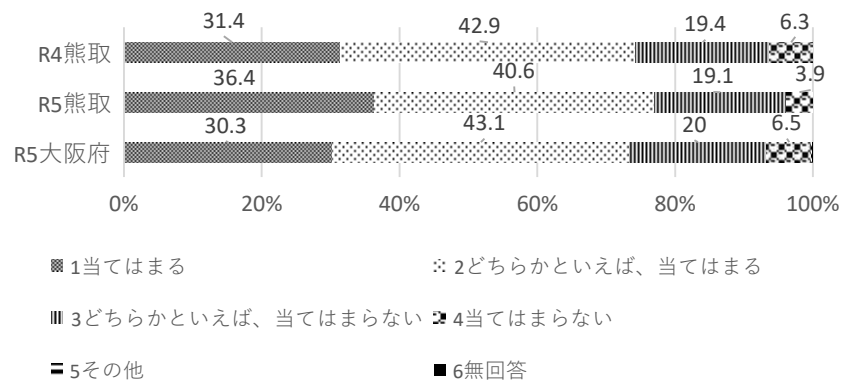






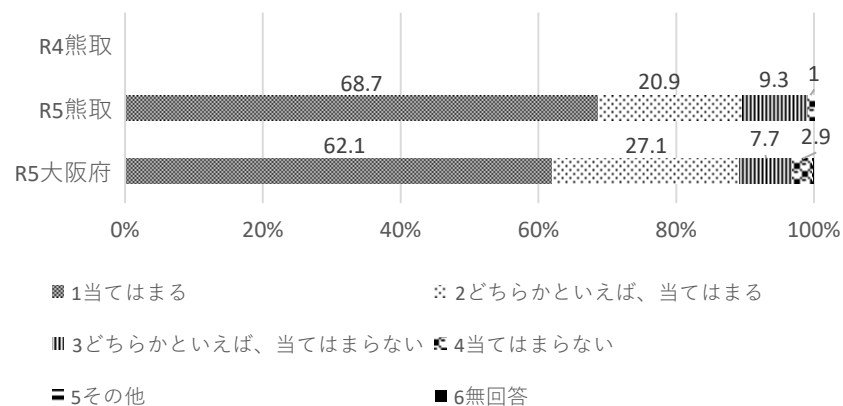
13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

小学校



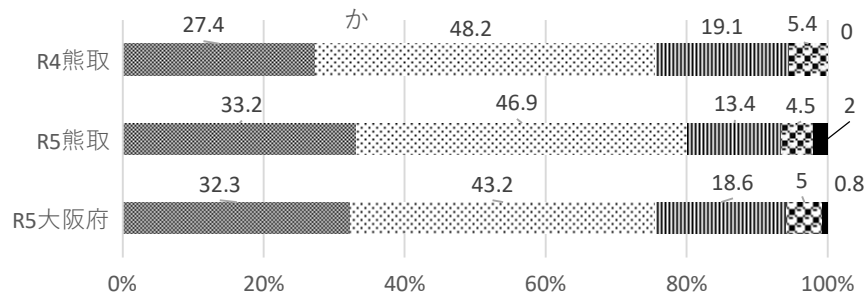
14 友だち関係に満足していますか

小学校



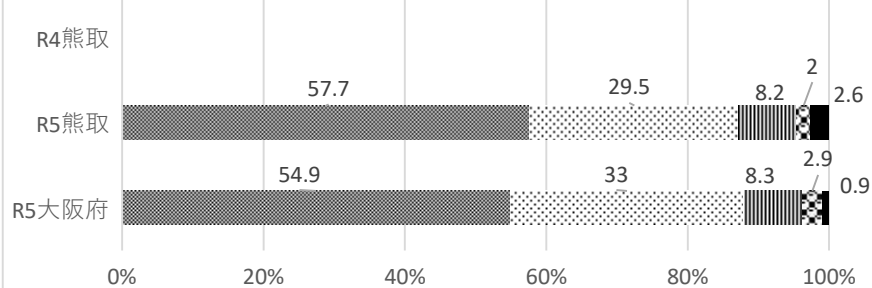
13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

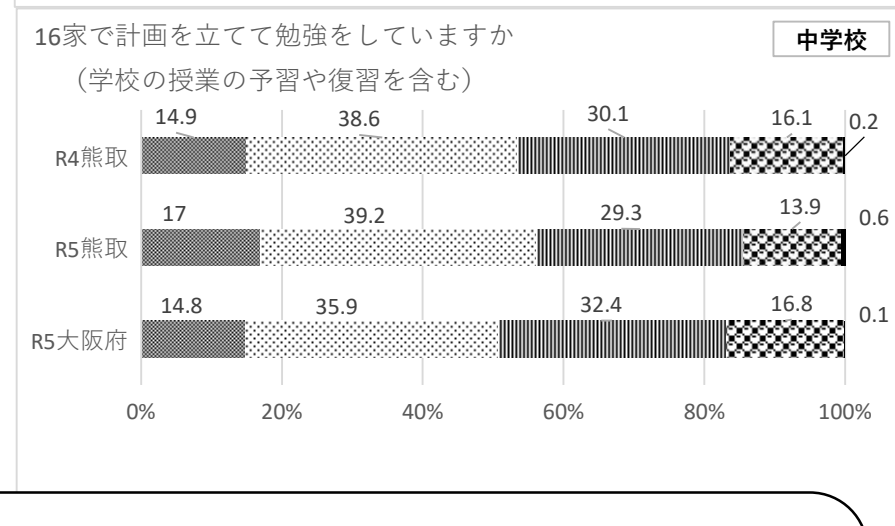
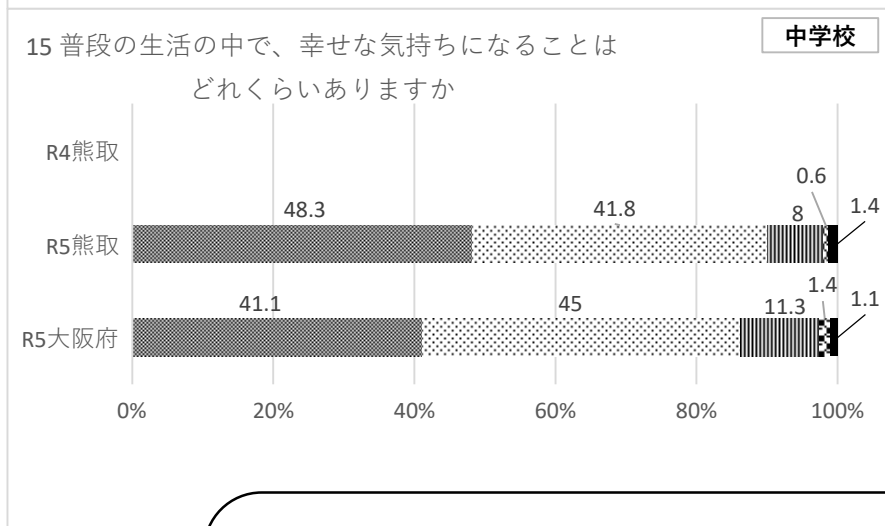
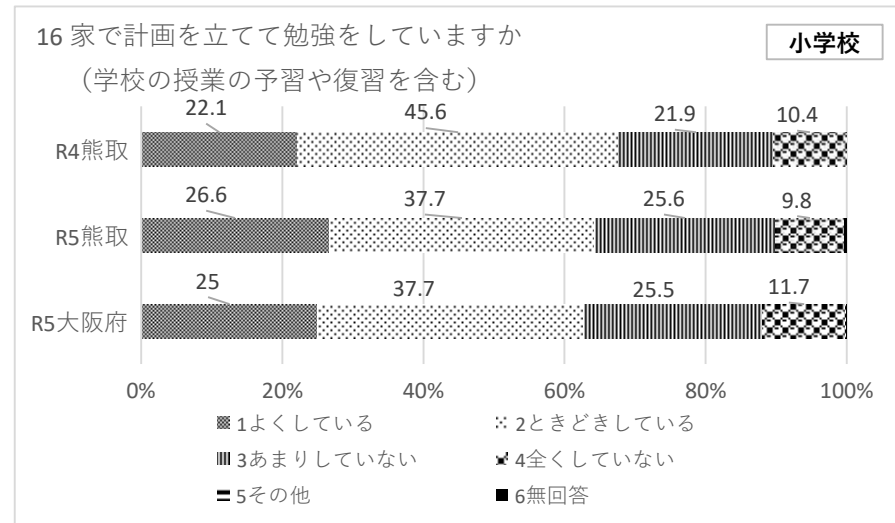
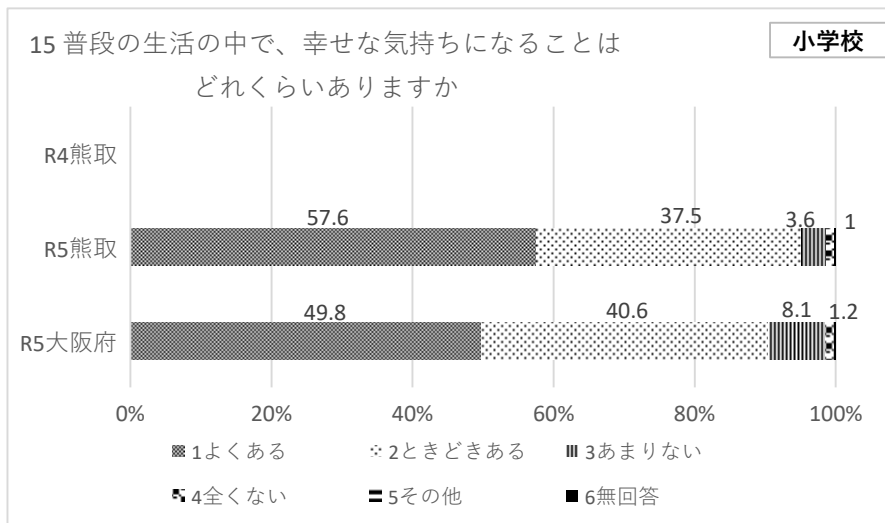
中学校



14 友だち関係に満足していますか

中学校



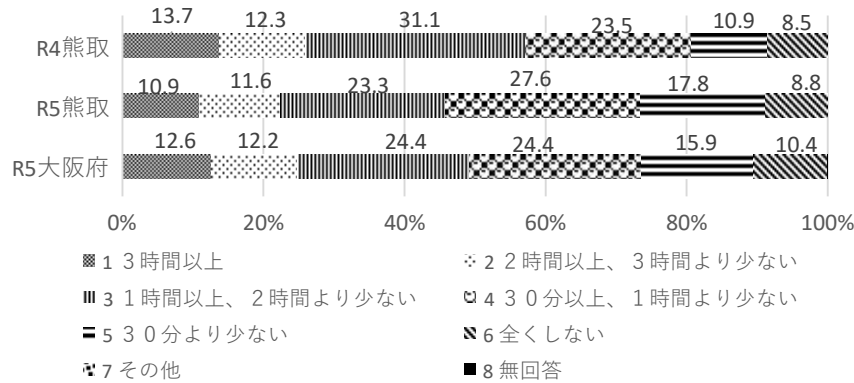


③ 学習習慣、学習環境等 小・中学校 16～24

家で計画的に学習することについては、小学校では昨年度の本町のポイントを下回り、中学校では昨年度の本町および大阪府のポイントを上回る結果であった。学校と家庭が連携を図りながら、子どもたちの学習習慣づくりに取り組むことが重要である。また、「読書は好きですか」の肯定的回答は昨年度に比べ、若干ポイントは下がったものの、本町の子どもたちは本を借りたり、読んだりするために学校図書館や地域の図書館を利用する割合は高い。今後も、子どもたちが楽しいと思えるような読書活動の推進を図っていきたい。

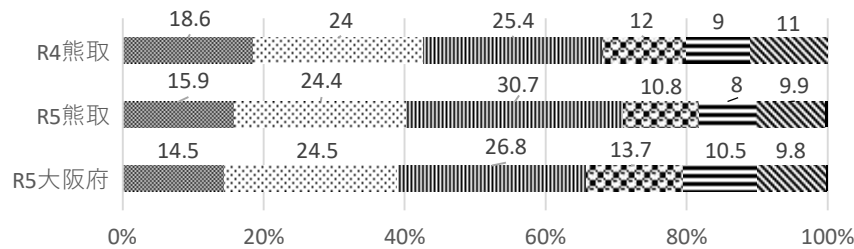
17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらい
の時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校



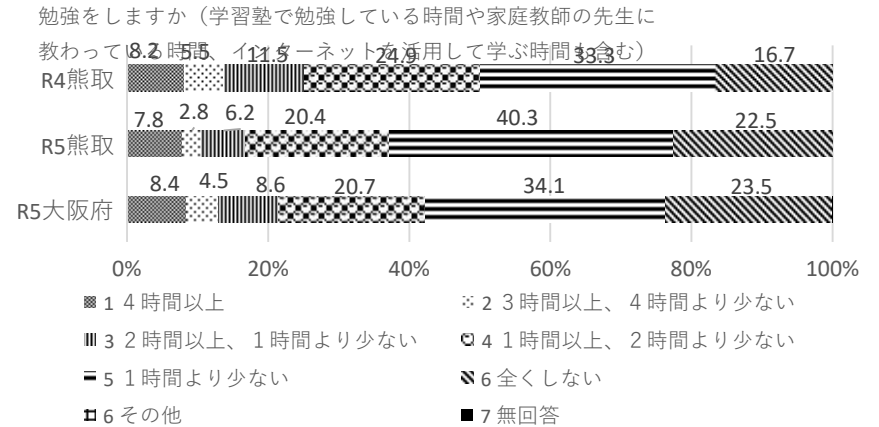
17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれ
くらい、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

中学校



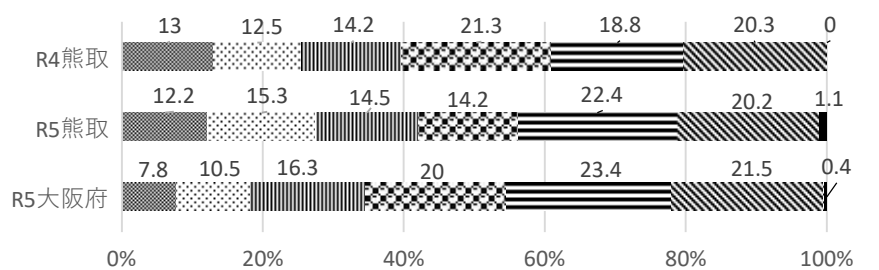
18 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校



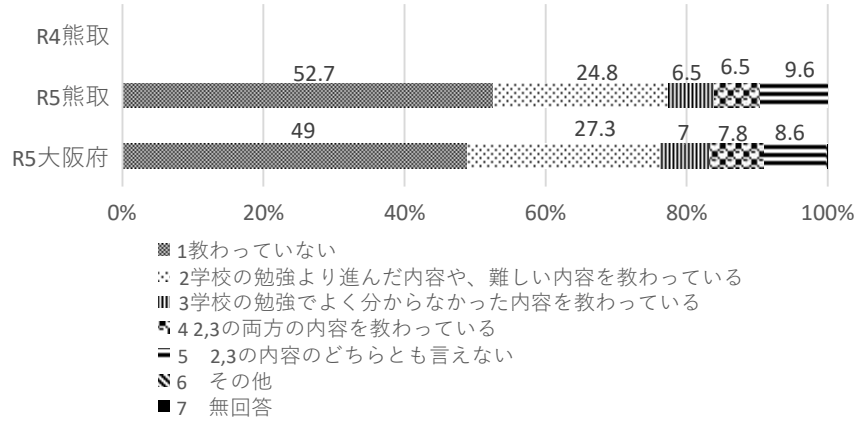
18 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

中学校



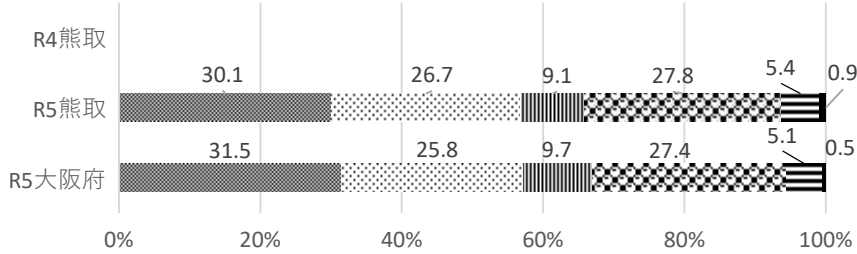
19 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか
(インターネットを通じて教わっている場合も含む)

小学校



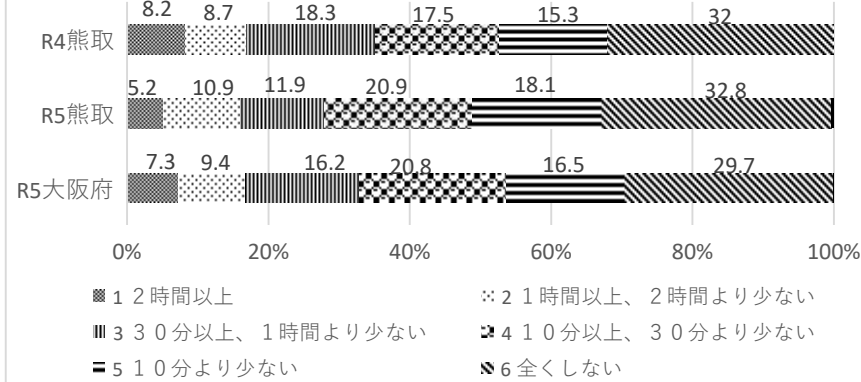
19 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか
(インターネットを通じて教わっている場合も含む)

中学校



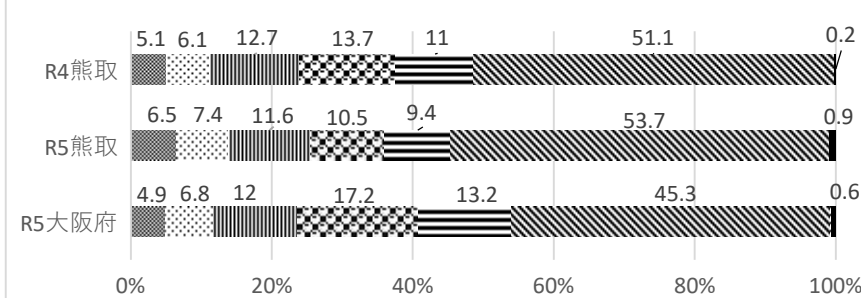
20 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(電子書籍の読書も含む。教科書も参考書、漫画や雑誌は除く)

小学校



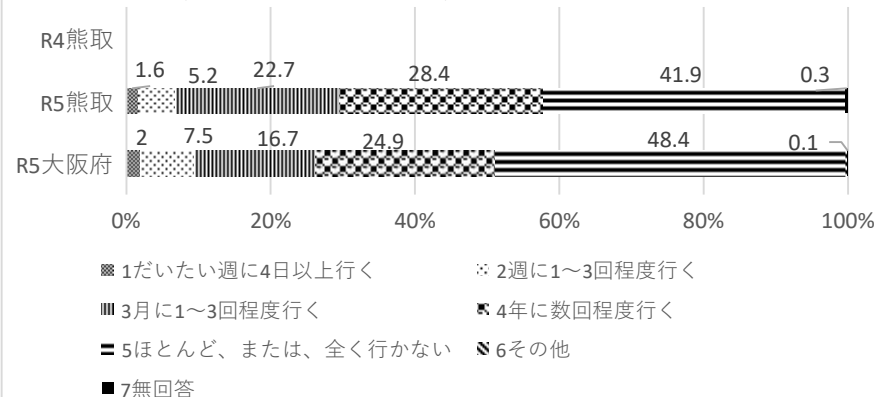
20 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(電子書籍の読書も含む。教科書も参考書、漫画や雑誌は除く)

中学校



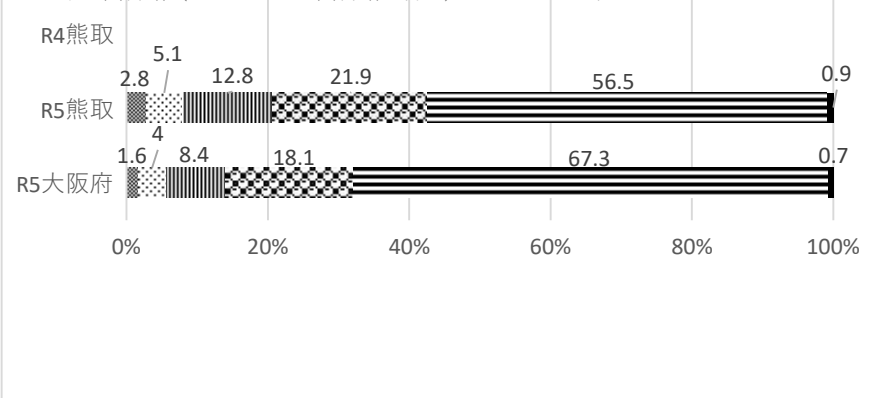
21 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか

小学校



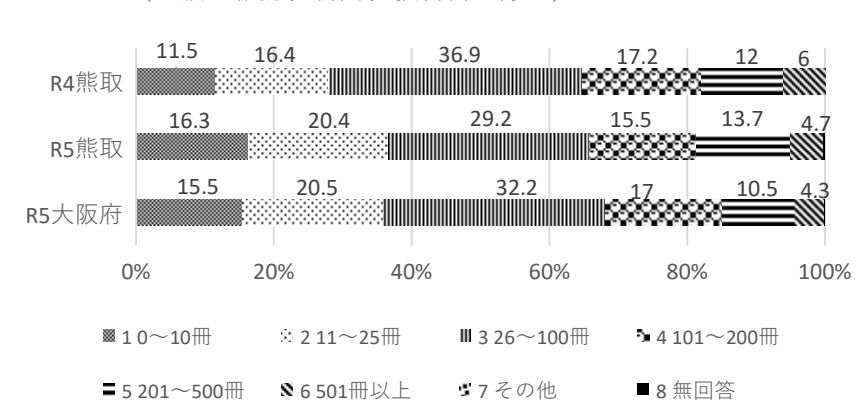
21 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか

中学校



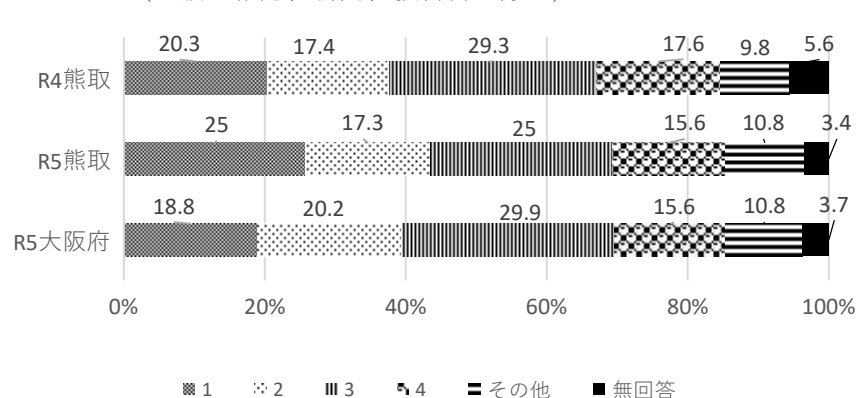
22 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか
(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)

小学校



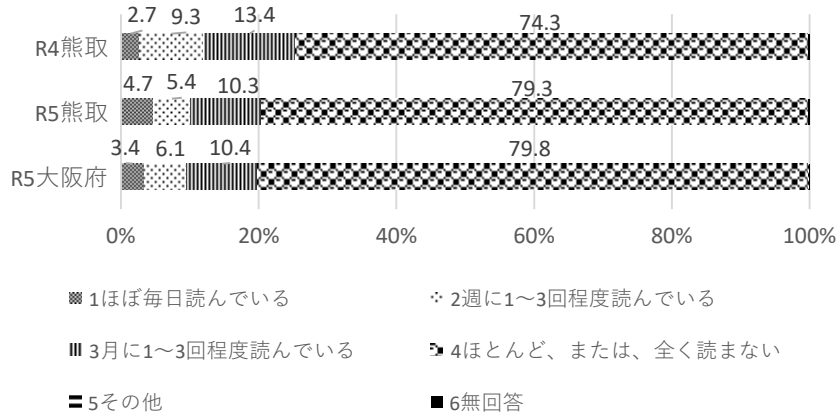
22 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか
(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)

中学校



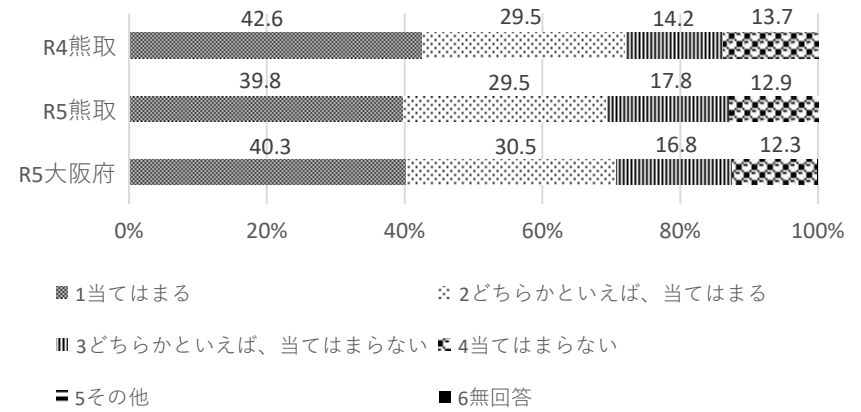
23 新聞を読んでいますか

小学校



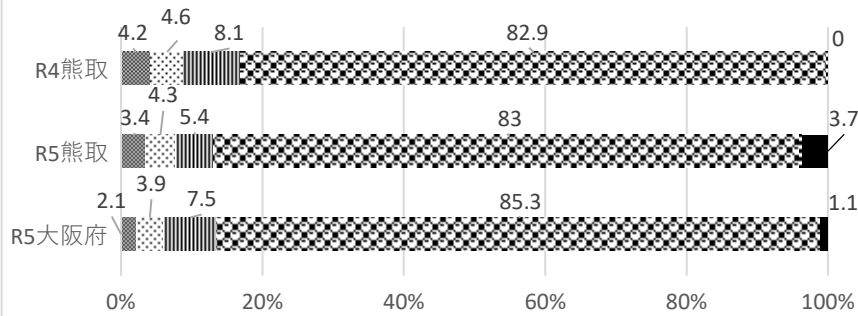
24 読書は好きですか

小学校



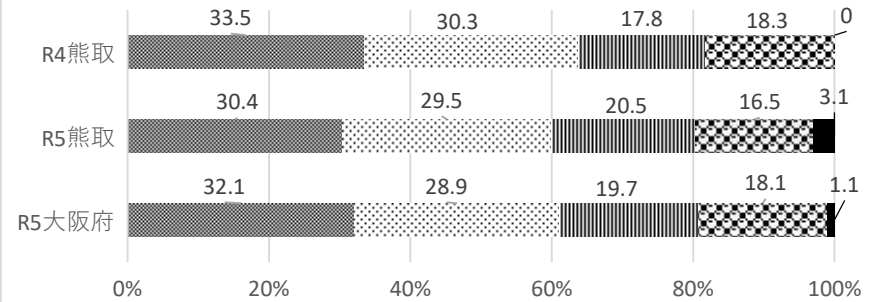
23 新聞を読んでいますか

中学校

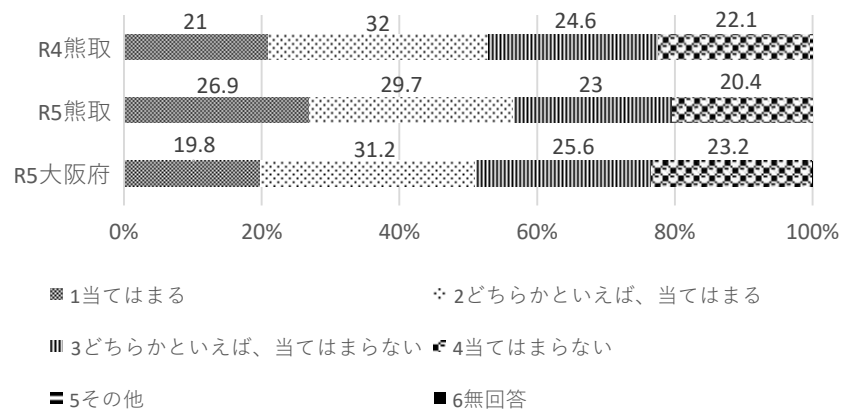


24 読書は好きですか

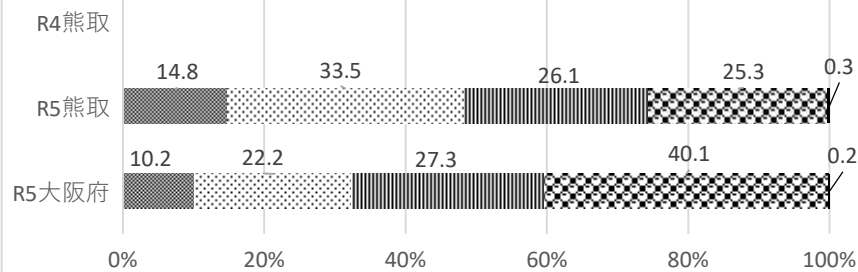
中学校



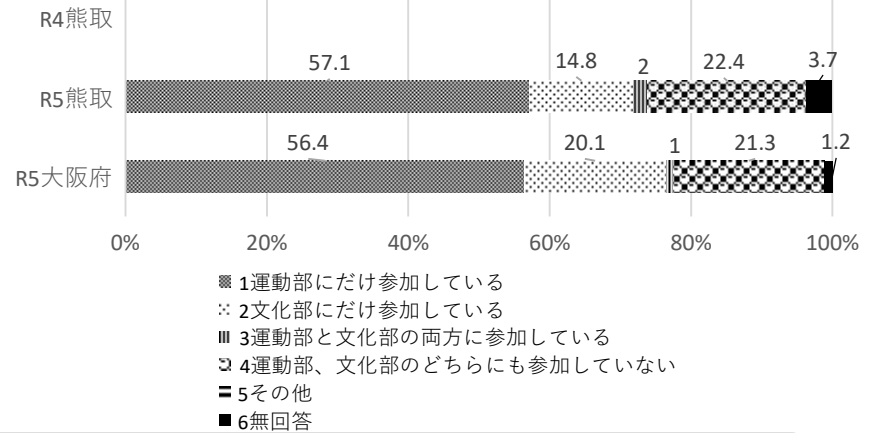
25 今住んでいる地域の行事に参加していますか 小学校



29 今住んでいる地域の行事に参加していますか 中学校



25 学校の部活動に参加していますか 中学校

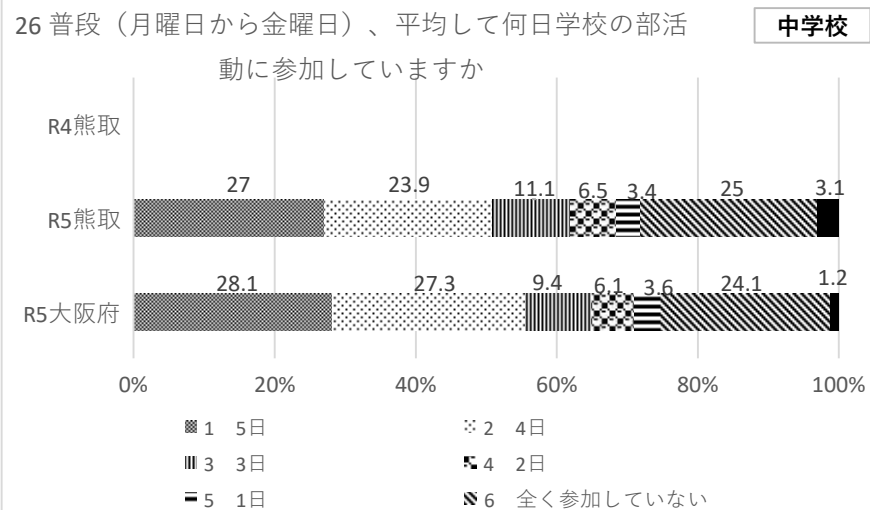


④ 地域や社会に関わる活動等の状況 小学校 25～28・中学校 25～32

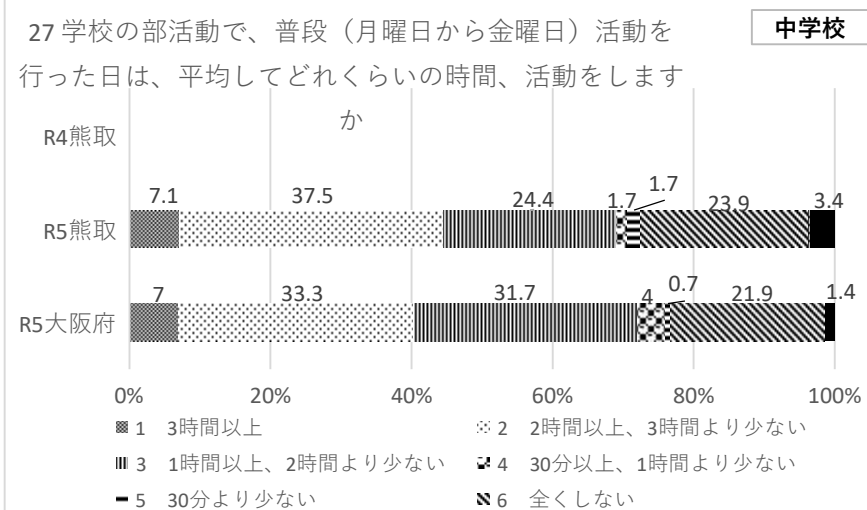
小中学校ともに、「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」の肯定的回答の割合が高まっている。今後も地域の方と出会い、交流し、連携することで、地域、社会の担い手となる子どもたちの資質・能力をしっかりと育てていきたい。

また、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」や「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の質問で大阪府のポイントを上回っている。今後も、地域のことを考えることを通して、グローバルな視点で物事を捉えることができるような活動を検討していきたい。

小学校なし



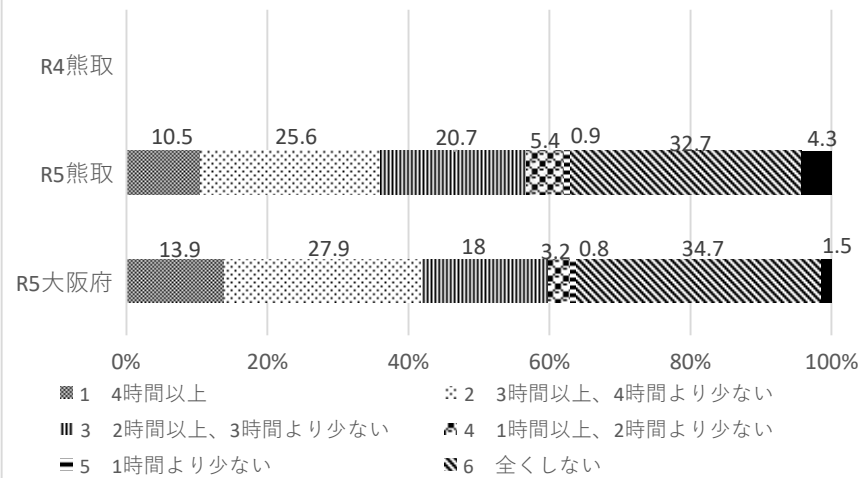
小学校なし



小学校なし

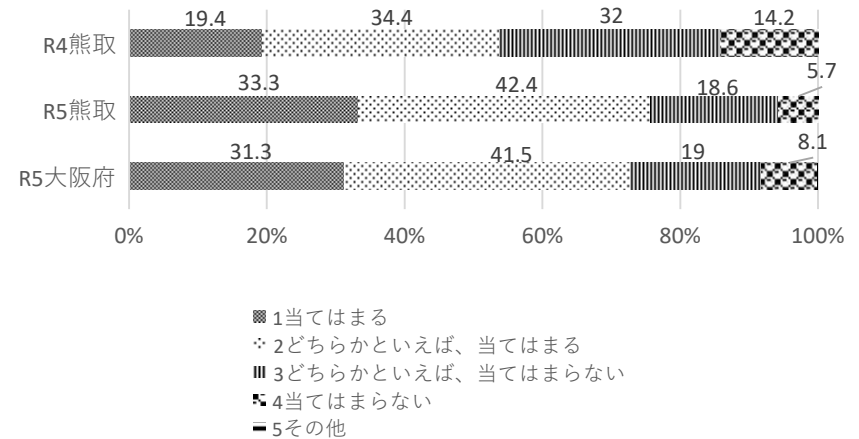
28 学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか

中学校



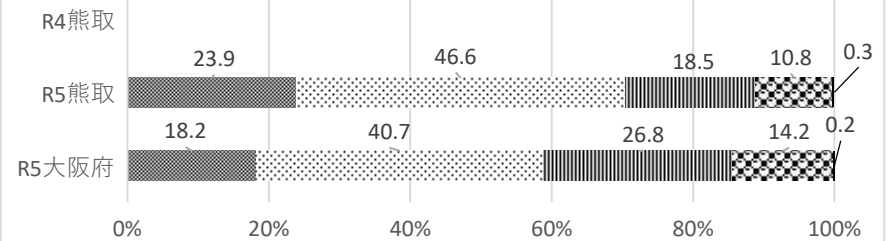
26 地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか

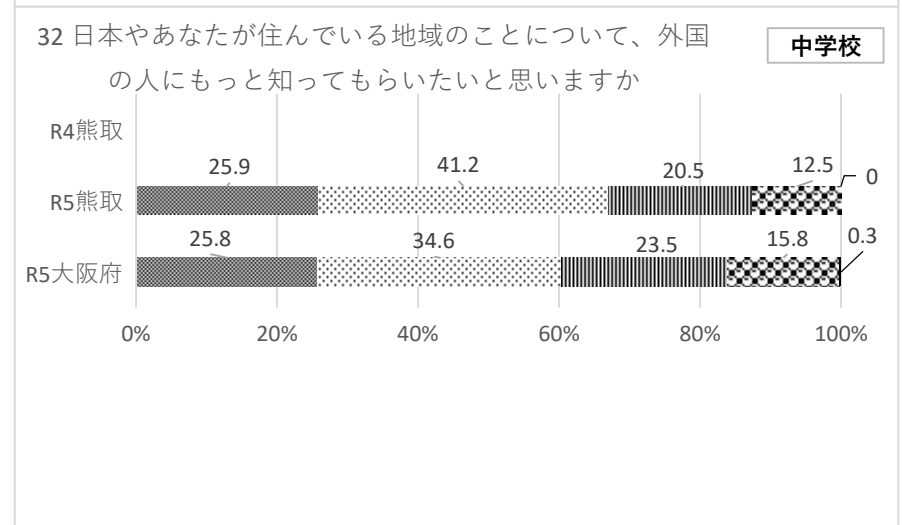
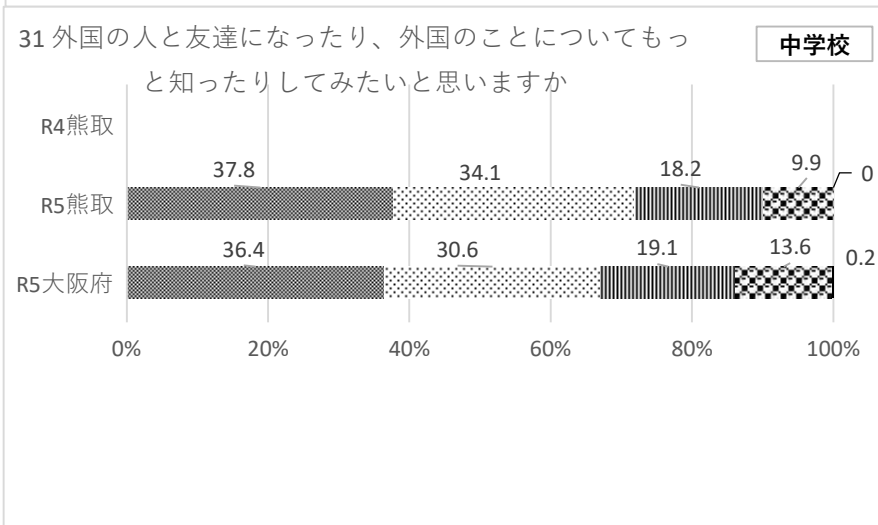
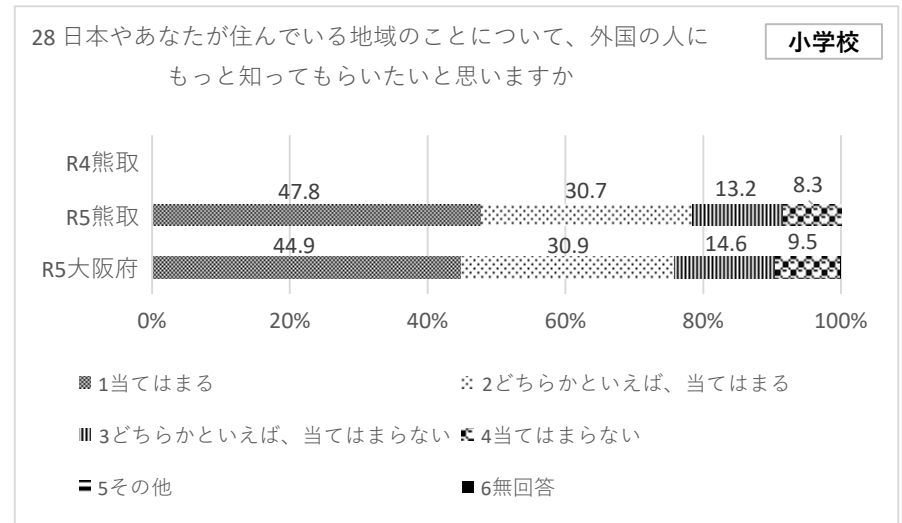
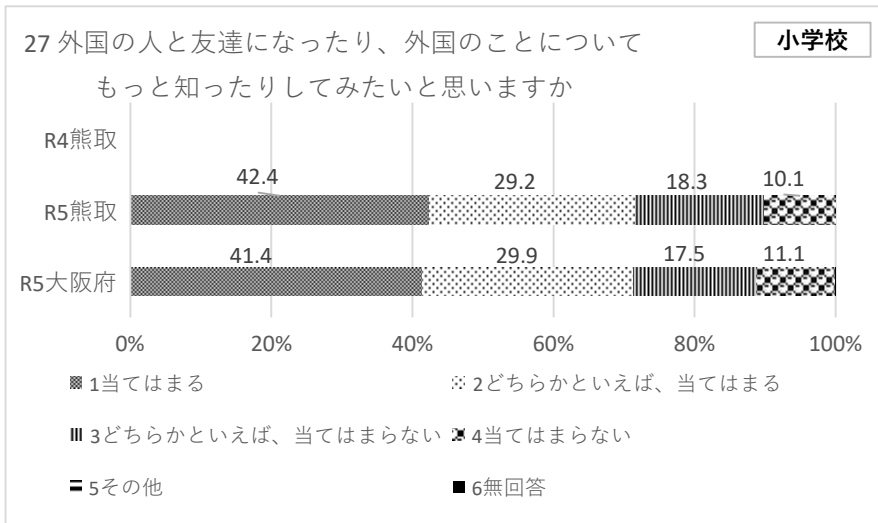
小学校

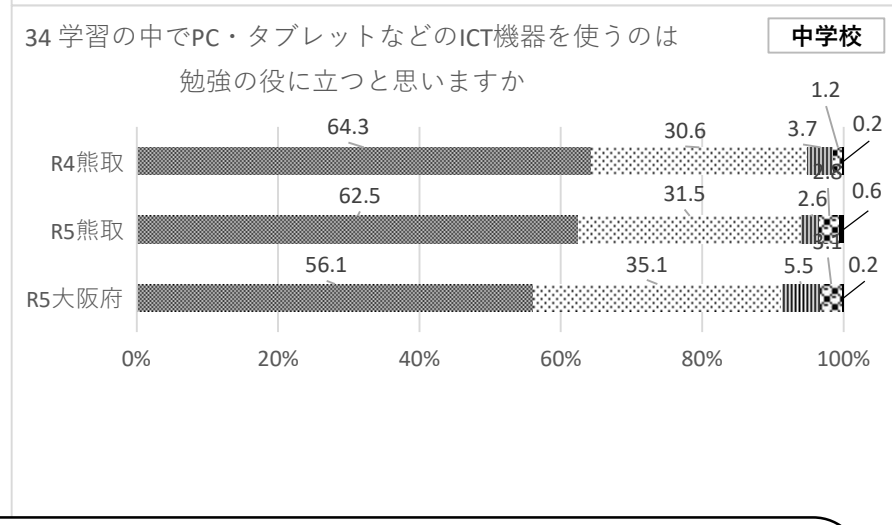
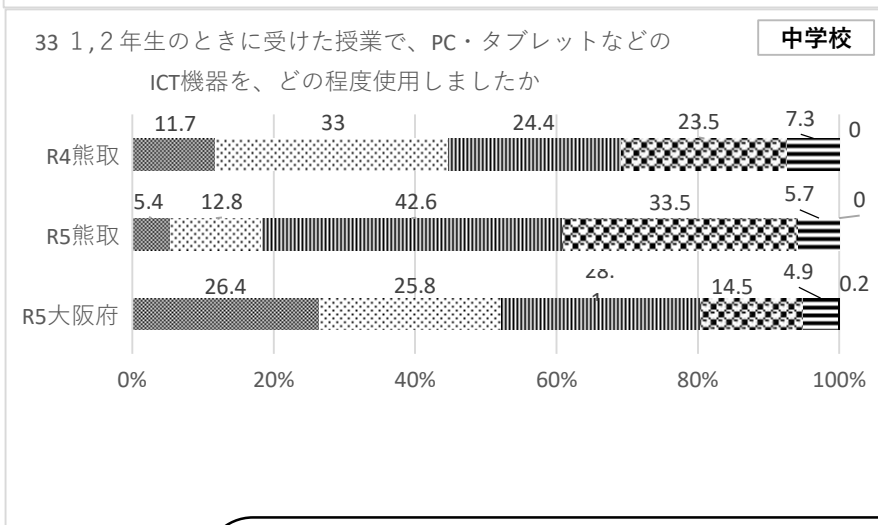
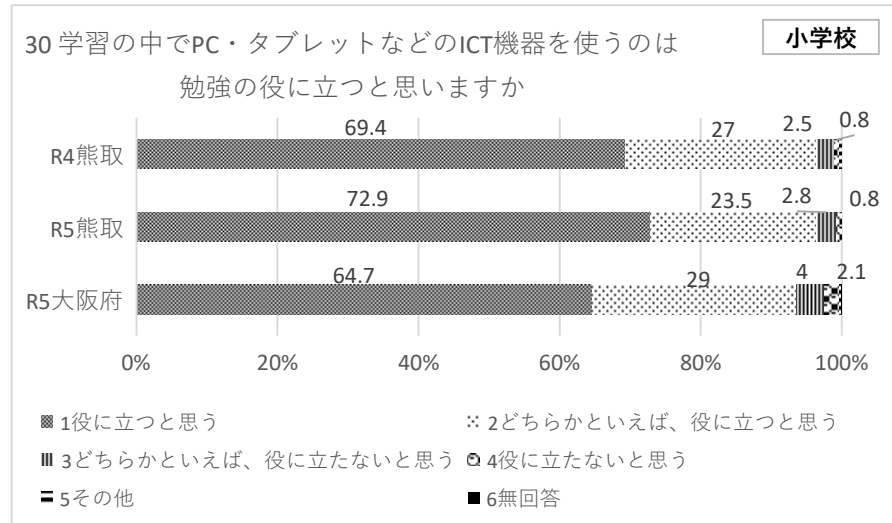
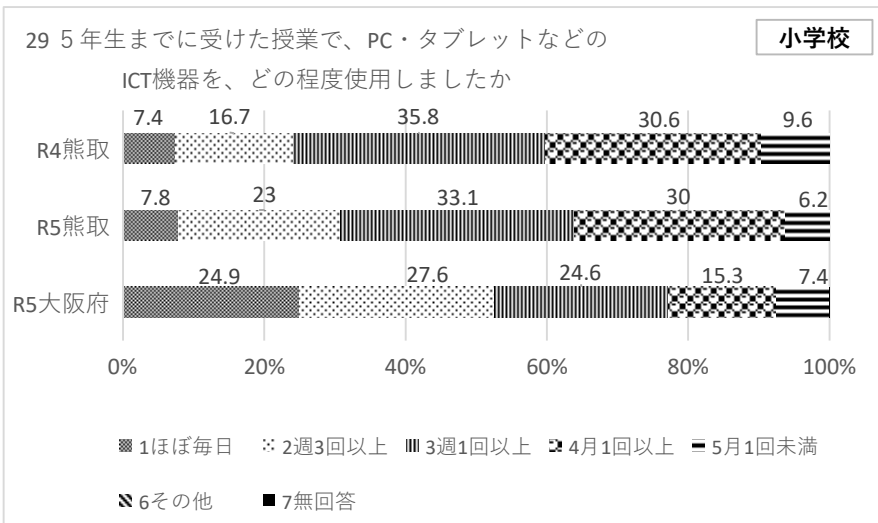


30 地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか

中学校





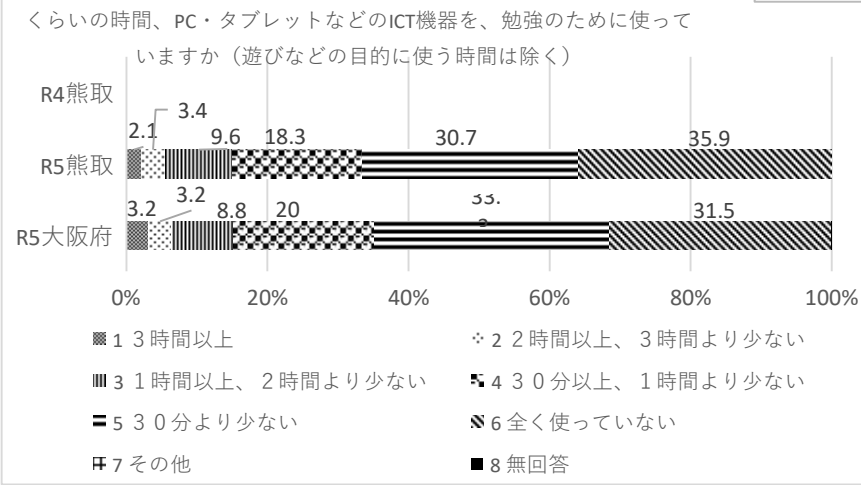


⑤ ICTを活用した学習状況 小学校29～31・中学校33～35

学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用する頻度は、小学校で昨年度より高くなったものの、小中学校ともに大阪府の頻度に比べると低い。一方でPC・タブレットなどのICT機器を活用することが勉強の役に立つと回答したポイントが大阪府より高いことから、ICT機器を使うことで力をつけることができた子どもたちが感じることで活用できていると言える。今後は、活用の目的と合わせて、活用頻度の向上に向け、取り組みを検討していくことが必要である。

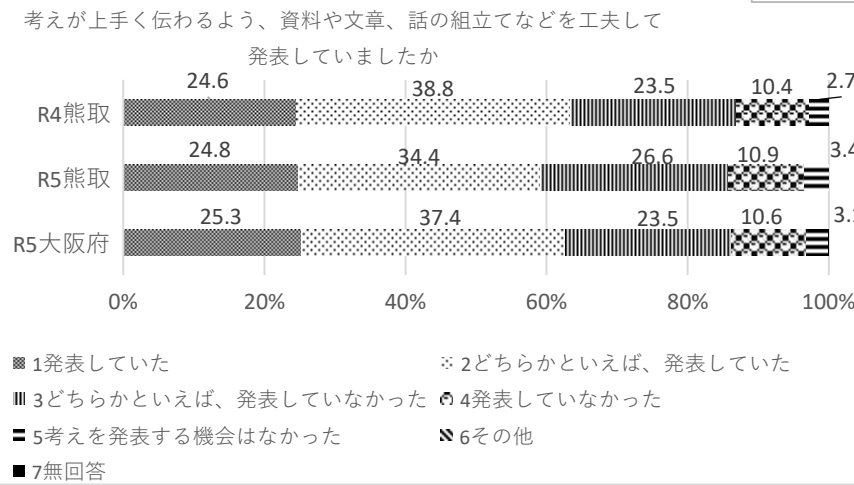
31 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれ

小学校



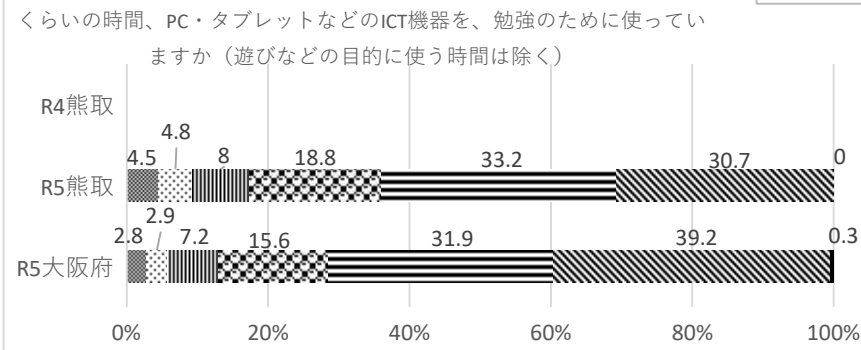
32 5年生までに受けた授業で自分の考えを発表する機会では、自分の

小学校



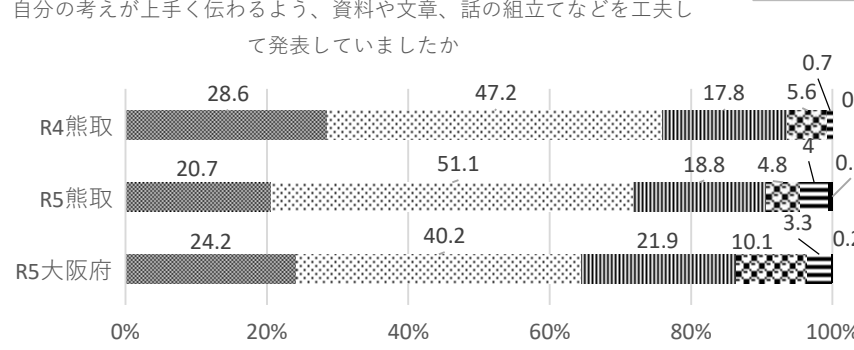
35 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれ

中学校



36 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、

中学校

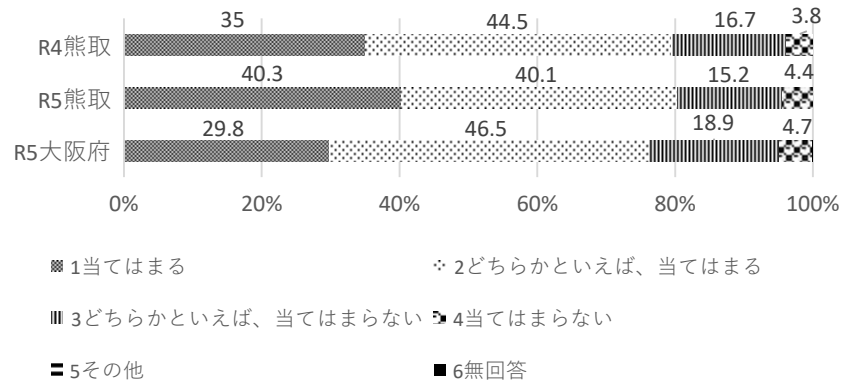


⑥ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 小学校32～38 ・中学校36～42

小中学校ともに、多くの項目において、肯定的回答は大阪府や昨年度の本町のポイントよりも高いことから、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいると言える。今回唯一課題となる「自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」の項目であることから、国語科で学んだ「話すこと」を、各教科や様々な場面で活用することで、子どもたちの資質・能力の向上をめざしたい。

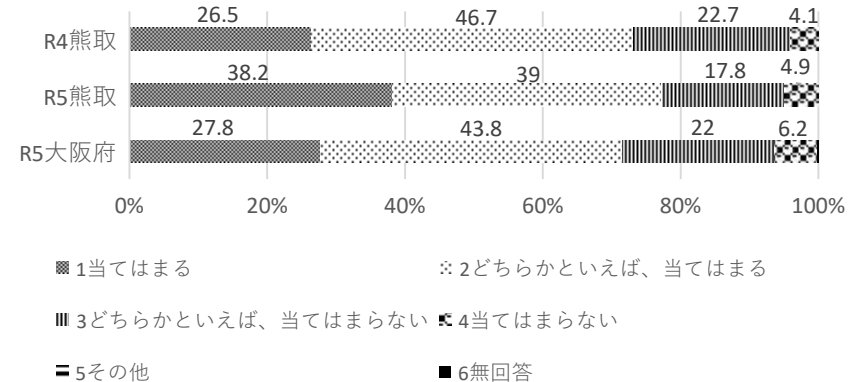
33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校



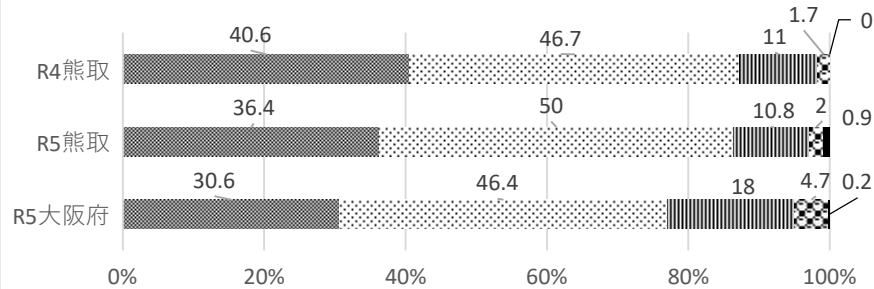
34 5年生までに受けた授業授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学校



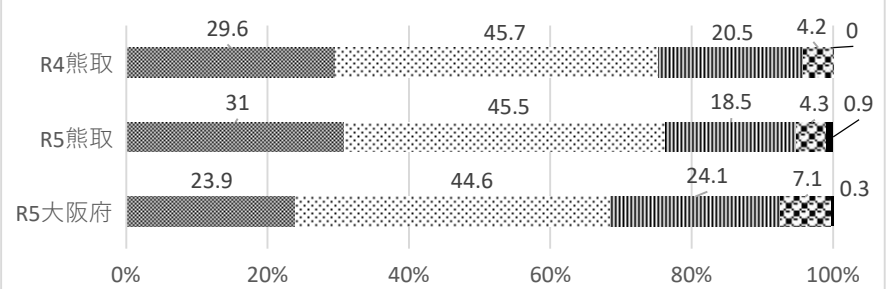
37 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

中学校



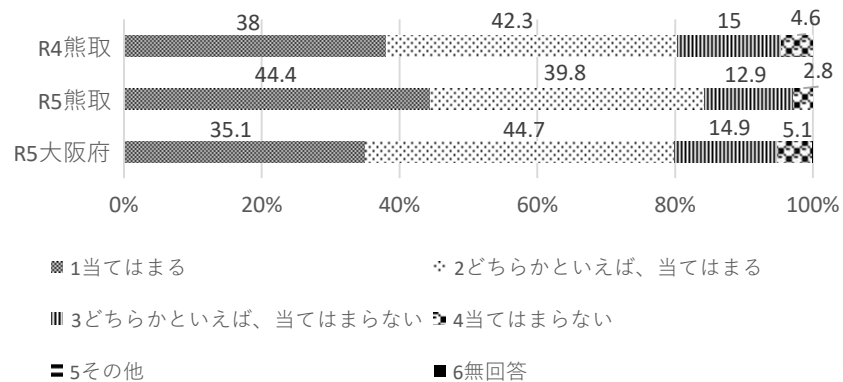
38 1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

中学校



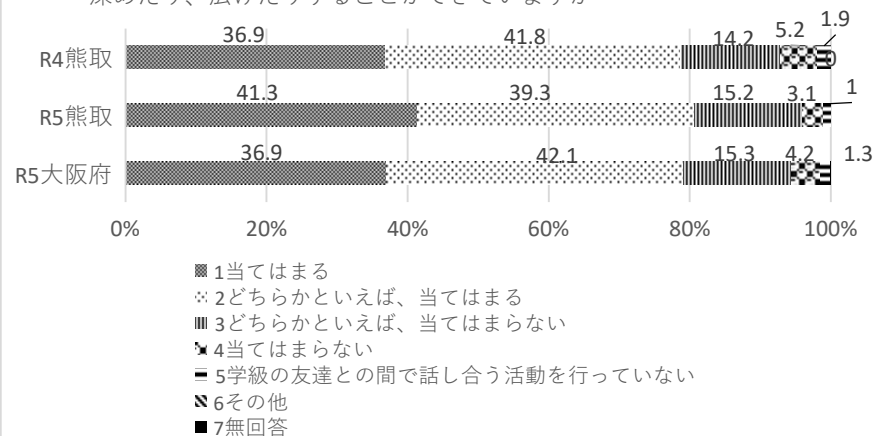
35 5年生までに受けた授業は、自分にあった
考え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校



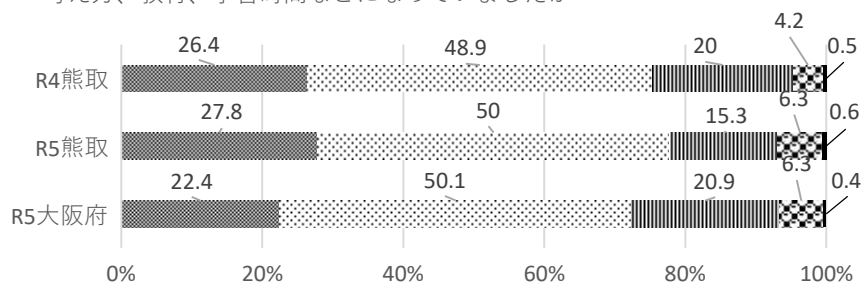
36 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを
深めたり、広げたりすることができていますか

小学校



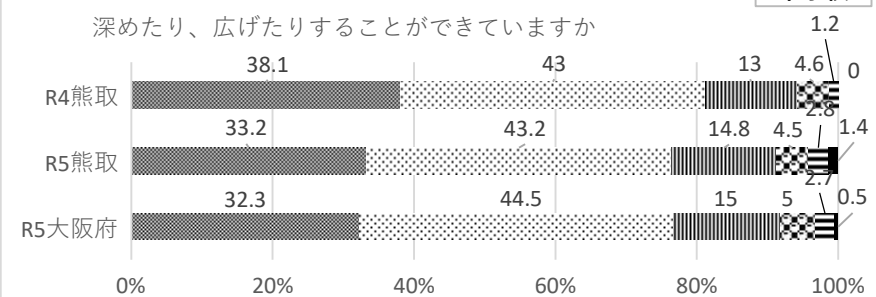
39 1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった
考え方、教材、学習時間などになっていましたか

中学校



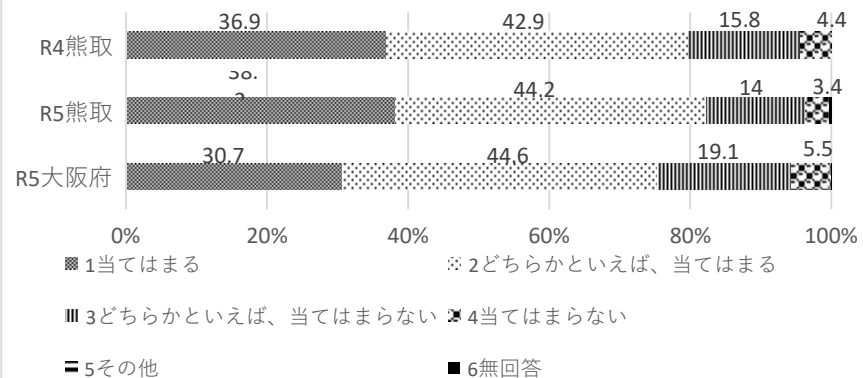
40 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを
深めたり、広げたりすることができていますか

中学校



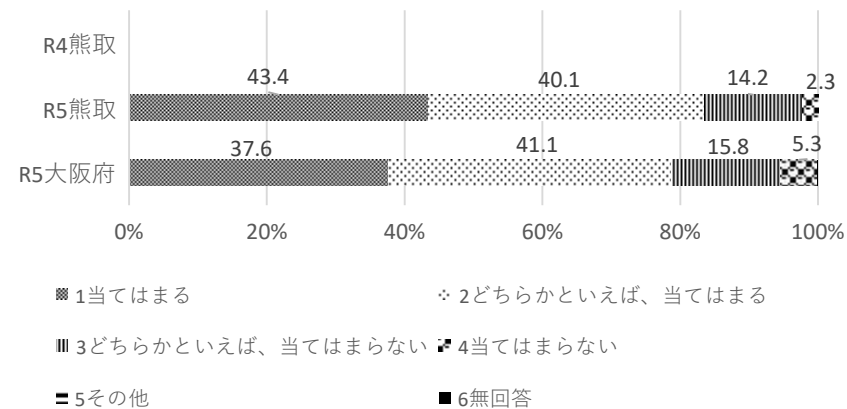
37 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学校



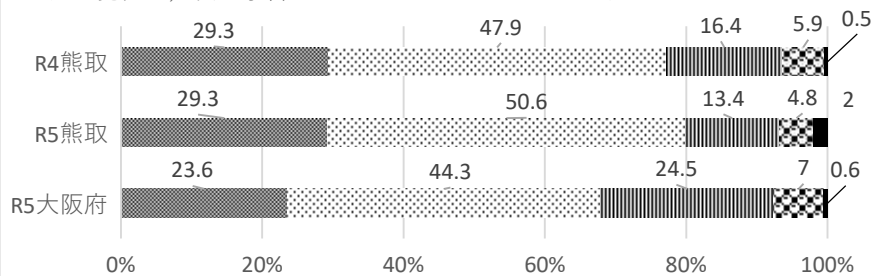
38 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

小学校



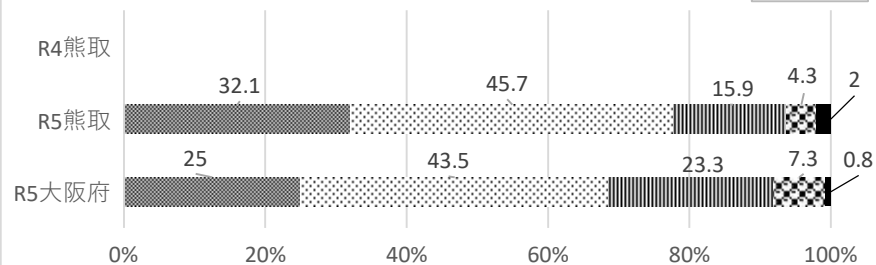
41 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

中学校

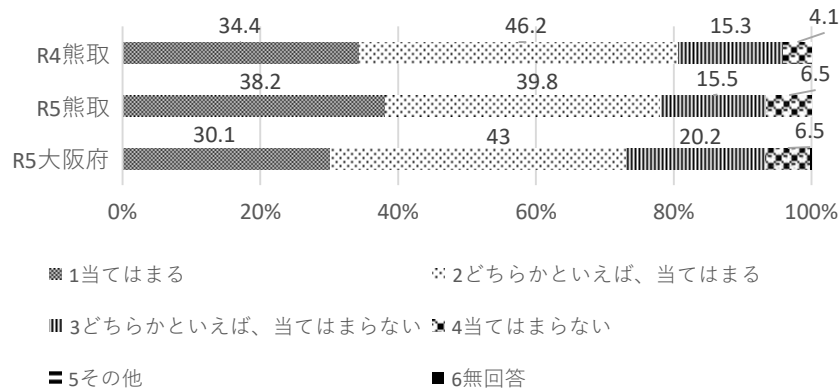


42 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

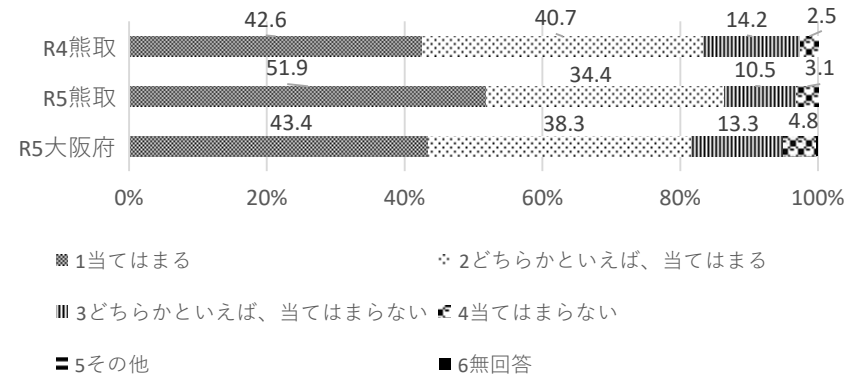
中学校



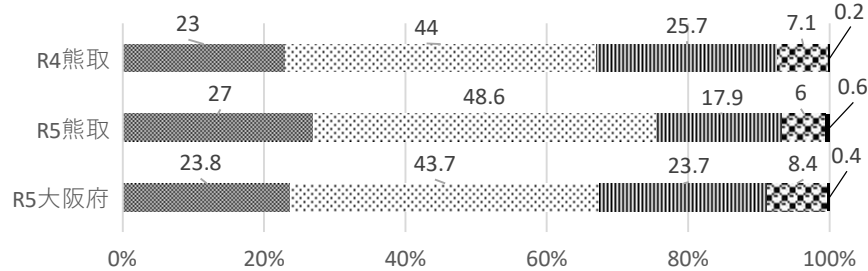
41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が
努力すべきことを決めて取り組んでいますか **小学校**



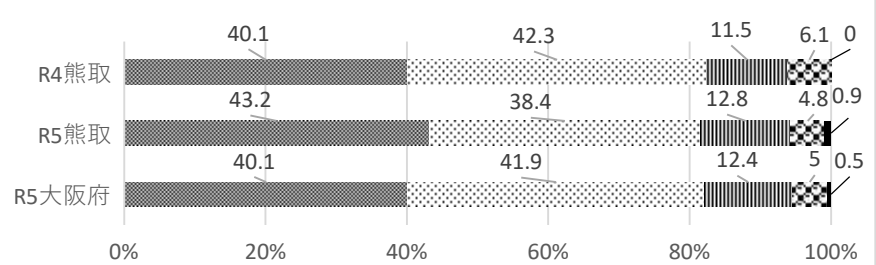
42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか **小学校**



45 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が
努力すべきことを決めて取り組んでいますか **中学校**

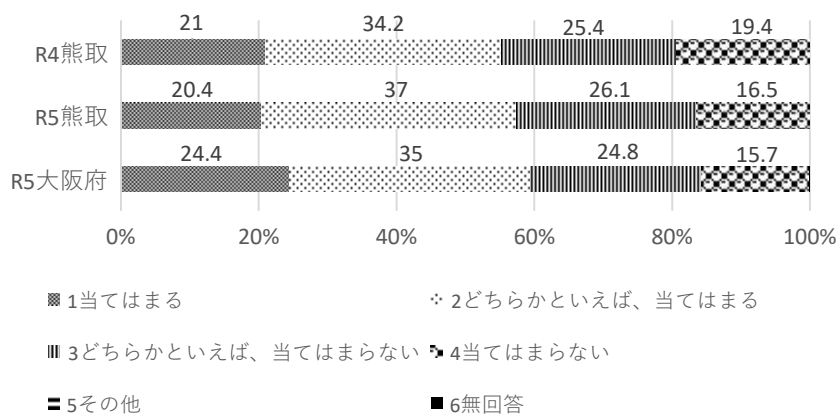


46 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか **中学校**



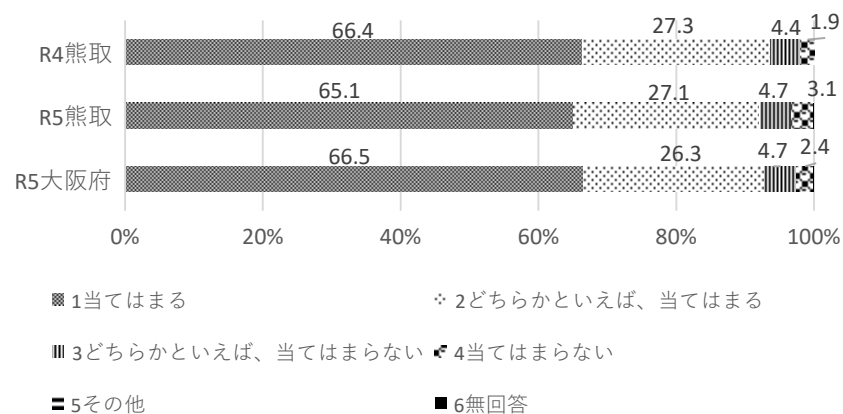
43 国語の勉強は好きですか

小学校



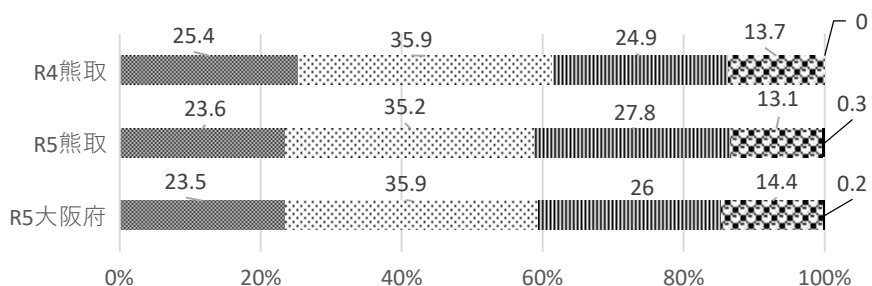
44 国語の勉強は大切だと思いますか

小学校



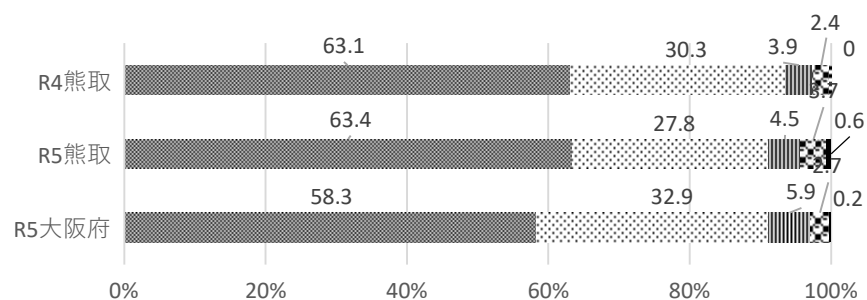
47 国語の勉強は好きですか

中学校



48 国語の勉強は大切だと思いますか

中学校

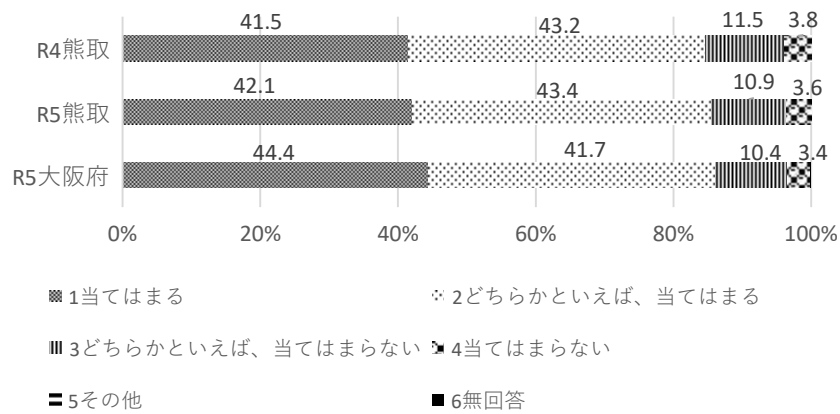


⑧ 学習に関する興味・関心や授業の理解度等 小学校 4 3～5 9 ・中学校 4 7～7 2

今年度調査のあった項目のうち、特に英語科では子どもたちが勉強が好きで、大切に感じているという肯定的回答が大阪府よりも高い結果となったことから、これまでのALTの活用や小中連携事業の取組等の効果が表れていると感じている。今後も、つきたい力を明確にし、子どもたちが「わかった」「できた」「楽しい」と感じるような授業づくりを推進していきたい。

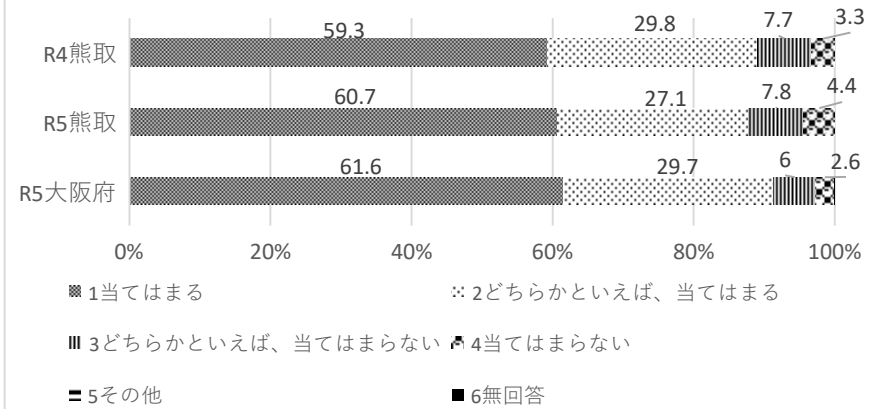
45 国語の授業の内容はよく分かりますか

小学校



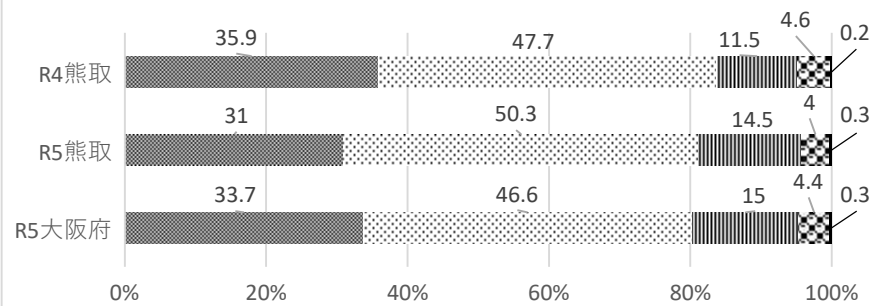
46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校



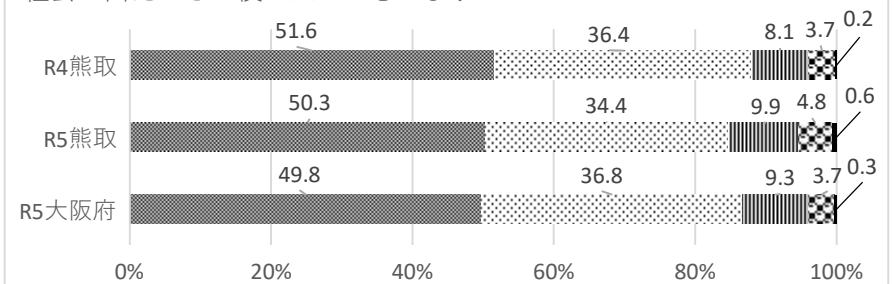
49 国語の授業の内容はよく分かりますか

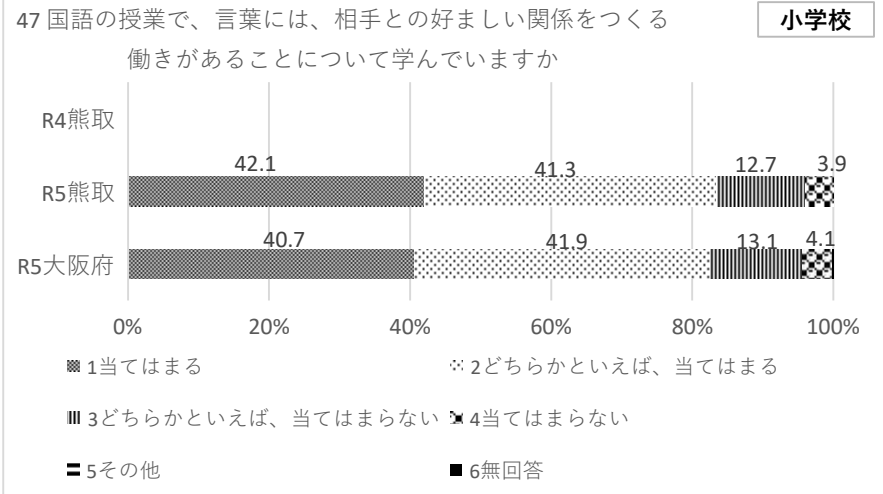
中学校



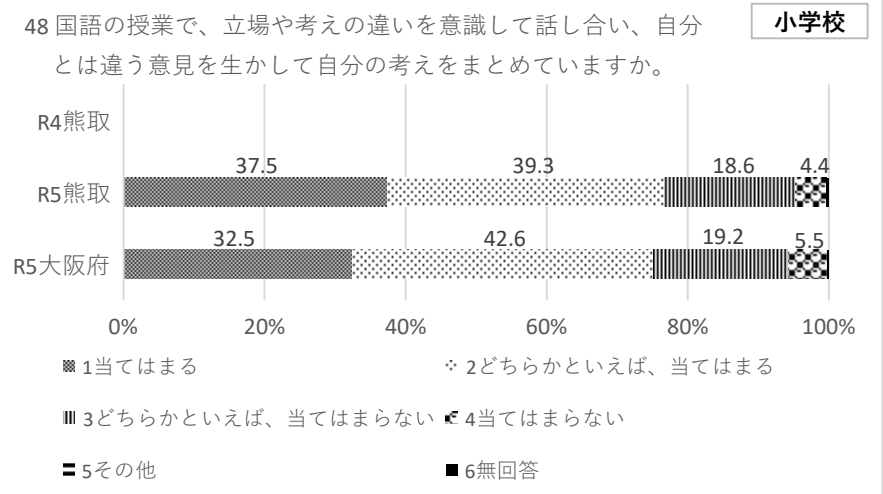
50 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

中学校





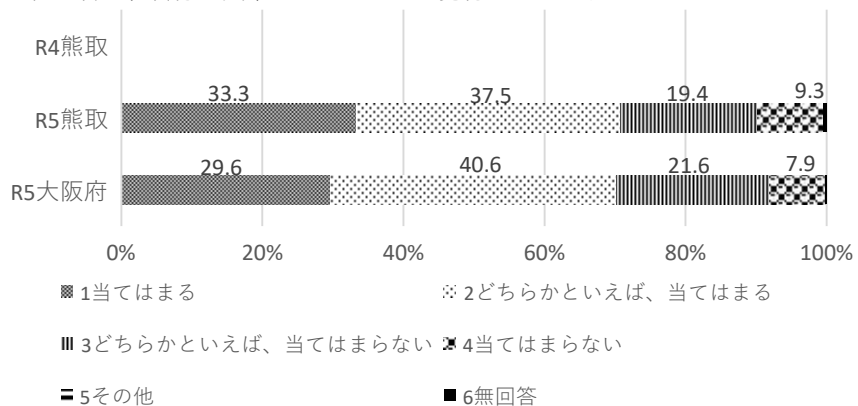
中学校なし



中学校なし

49 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか

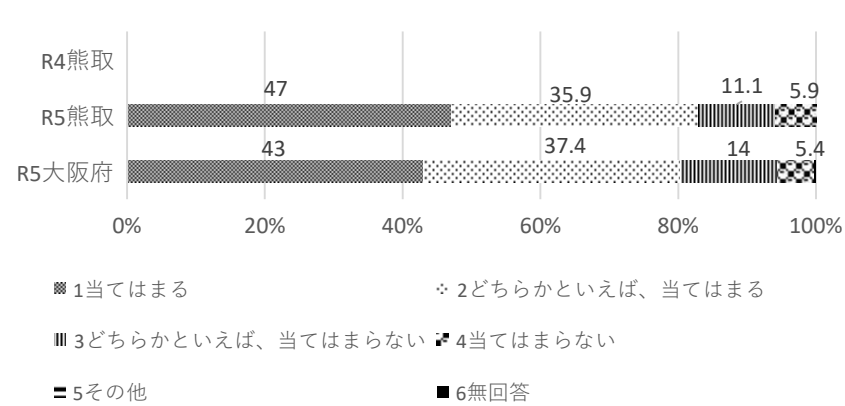
小学校



中学校なし

50 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体をイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか

小学校

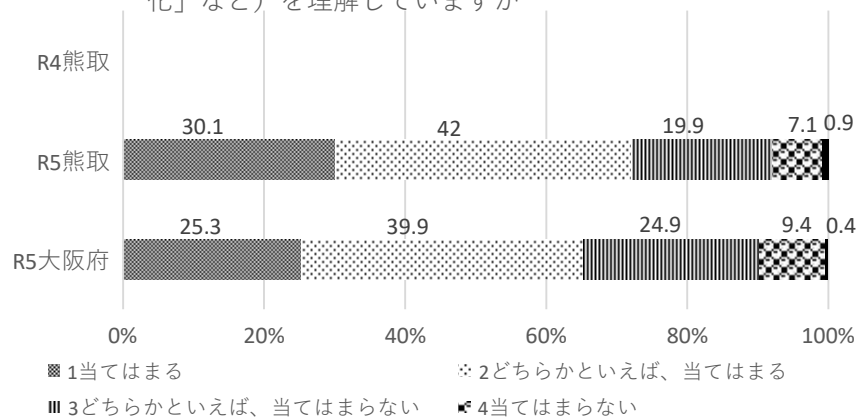


中学校なし

小学校なし

51 行書の基礎的な書き方（「点画の連続」、「筆順の変化」など）を理解していますか

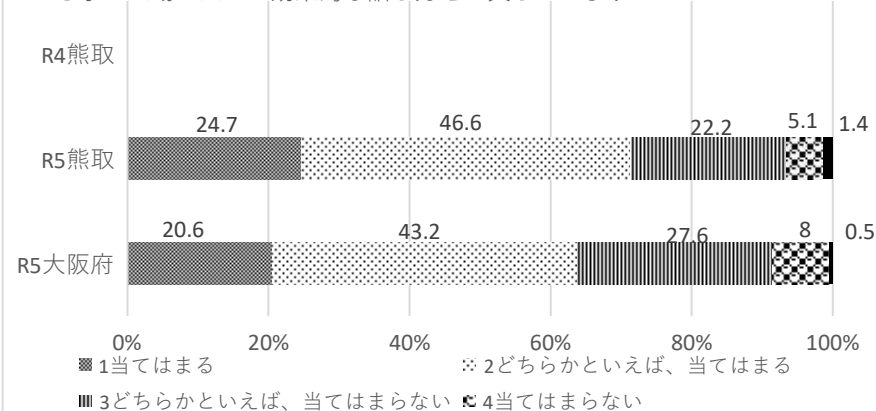
中学校



小学校なし

52 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか

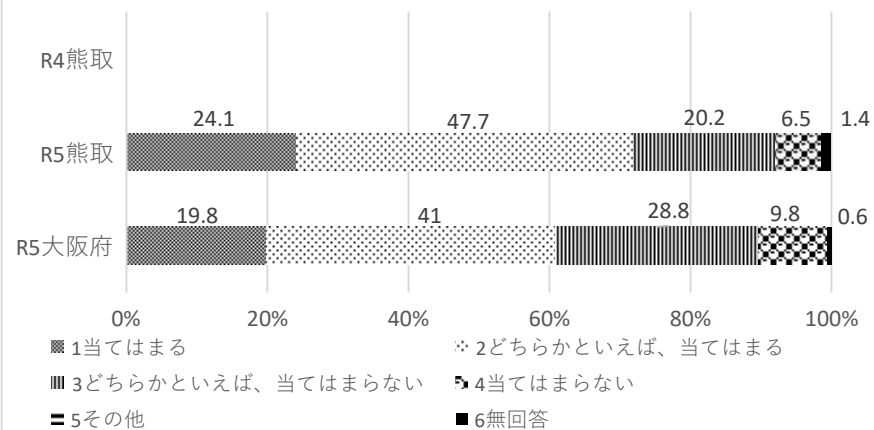
中学校



小学校なし

53 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な資料から引用して書いていますか

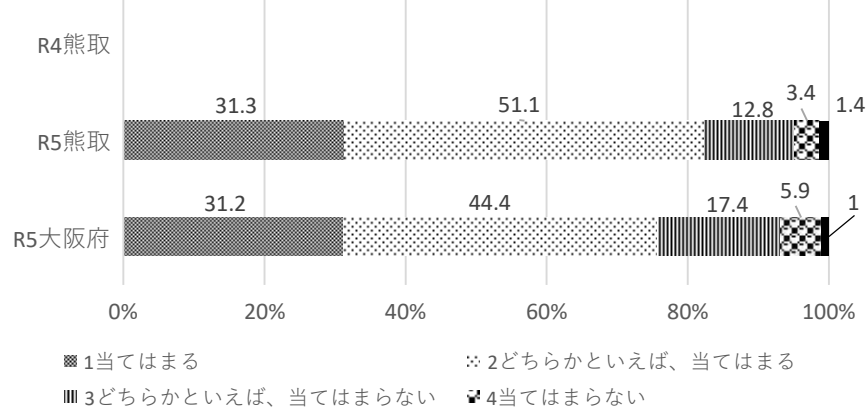
中学校



小学校なし

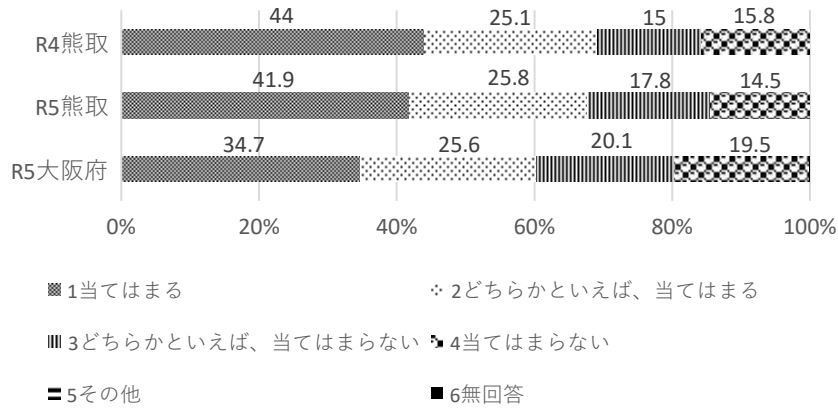
54 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか

中学校



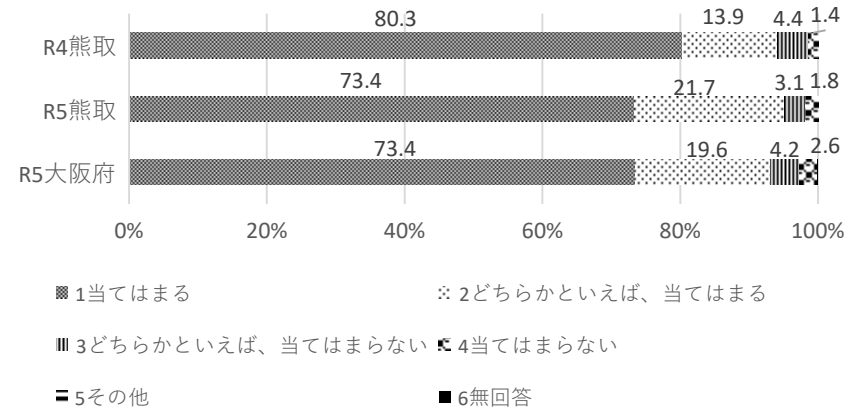
51 算数の勉強は好きですか

小学校



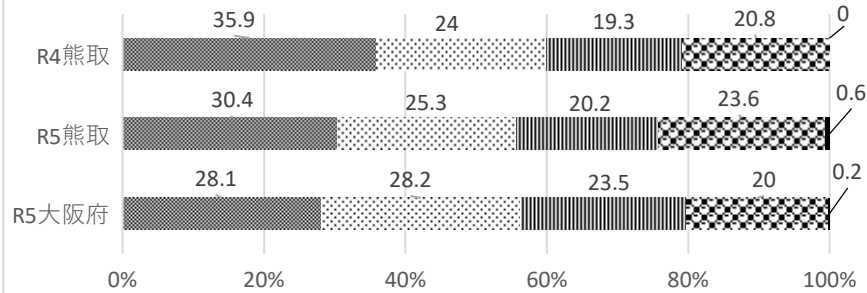
52 算数の勉強は大切だと思いますか

小学校



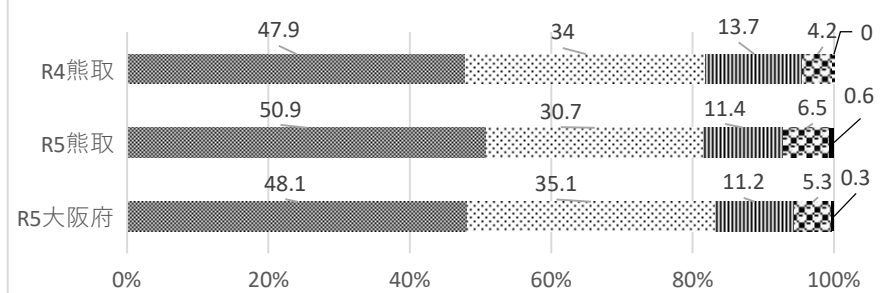
55 数学の勉強は好きですか

中学校



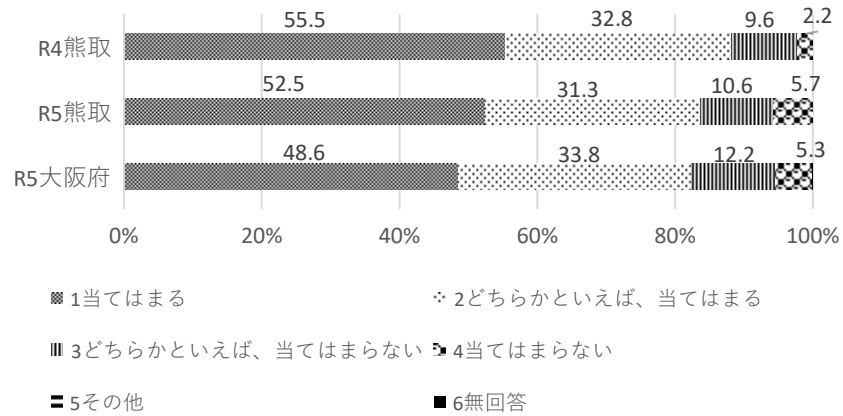
56 数学の勉強は大切だと思いますか

中学校



53 算数の授業の内容はよく分かりますか

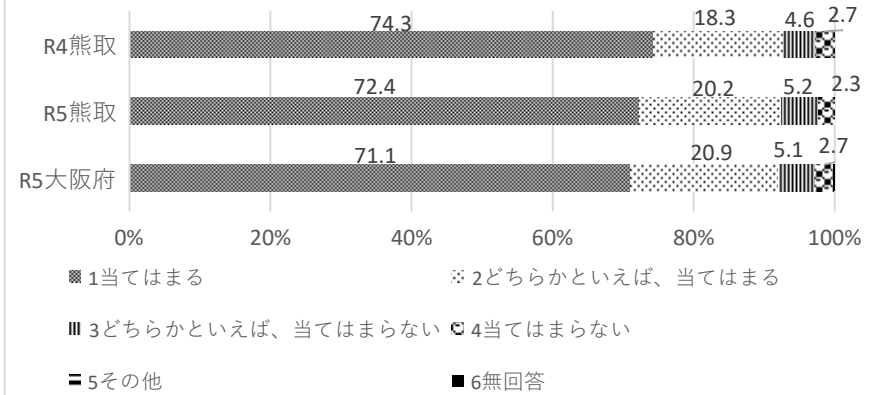
小学校



54 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た

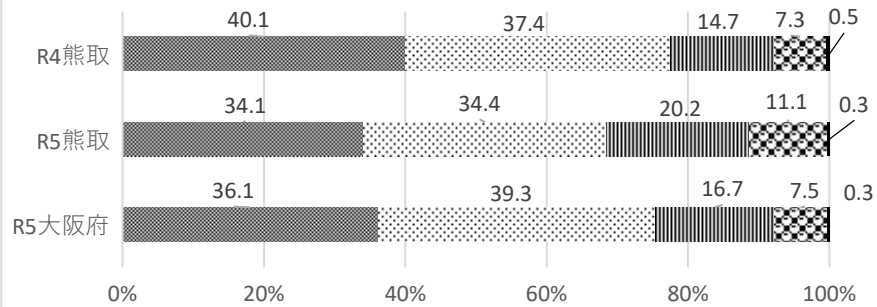
小学校

ときに役に立つと思いますか



57 数学の授業の内容はよく分かりますか

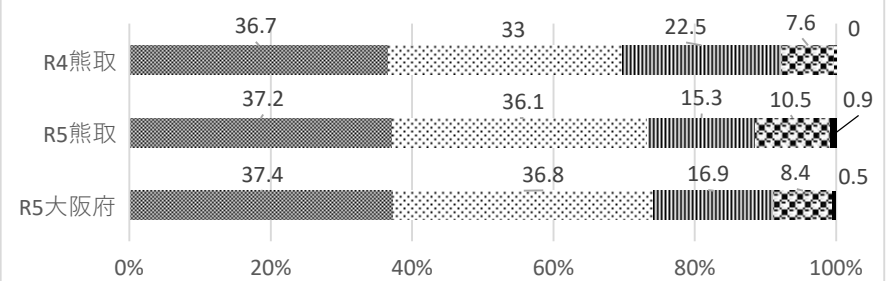
中学校



58 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た

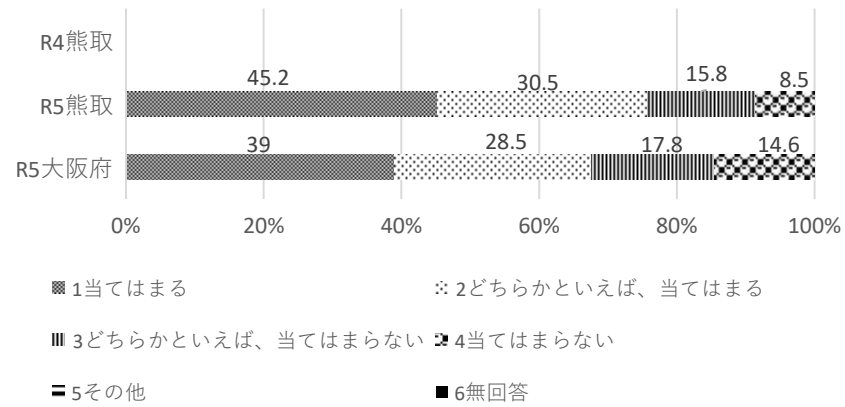
中学校

ときに役に立つと思いますか



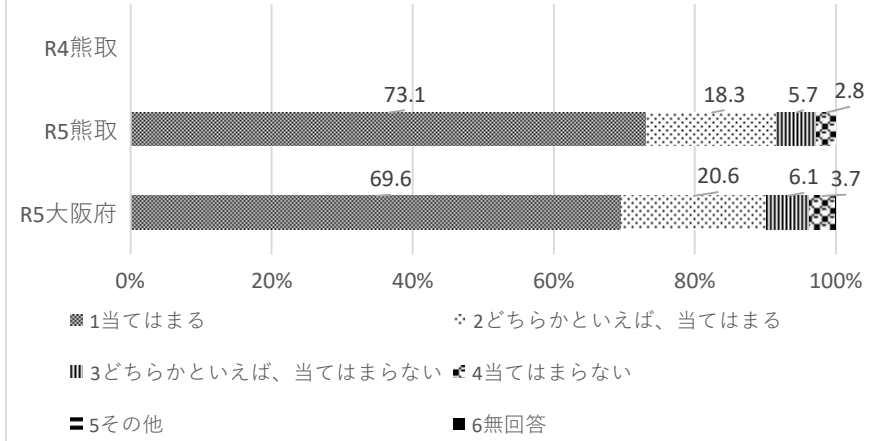
55 英語の勉強は好きですか

小学校



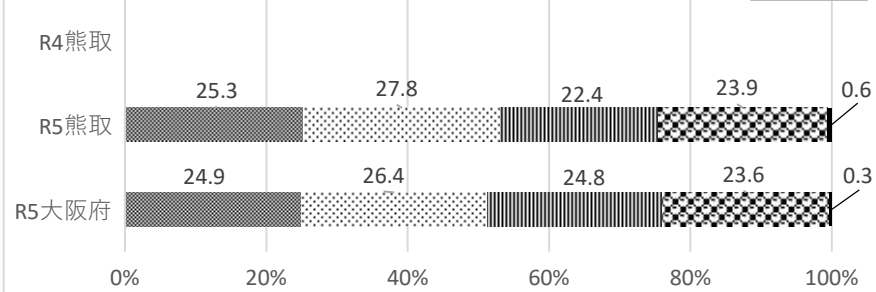
56 英語の勉強は大切だと思いますか

小学校



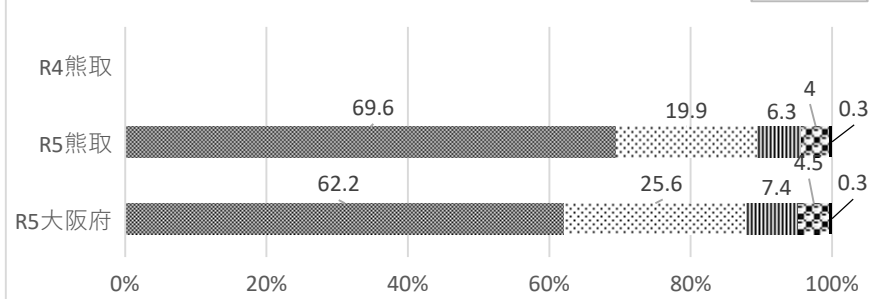
59 英語の勉強は好きですか

中学校



60 英語の勉強は大切だと思いますか

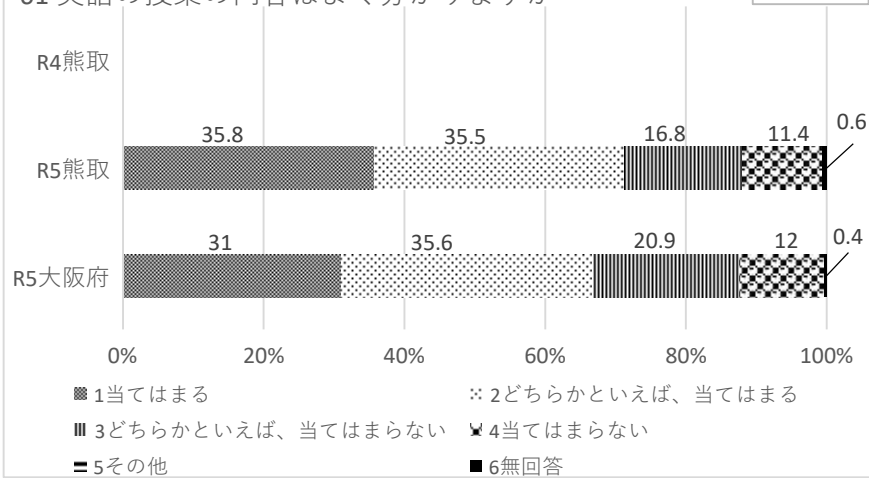
中学校



小学校なし

61 英語の授業の内容はよく分かりますか

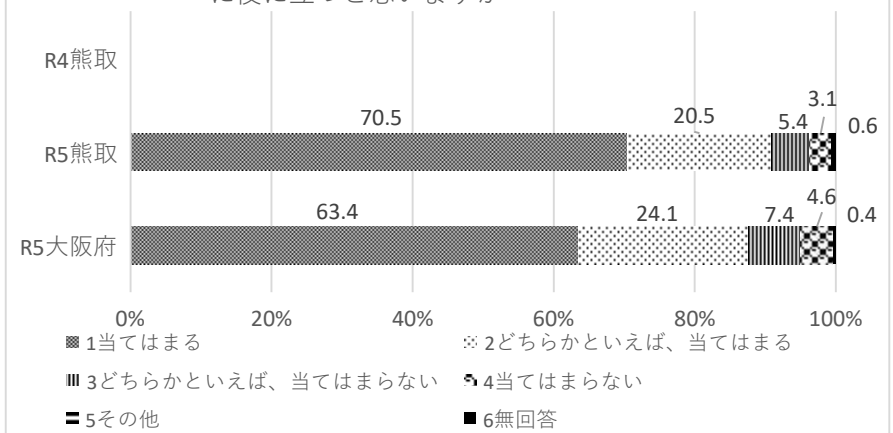
中学校



小学校なし

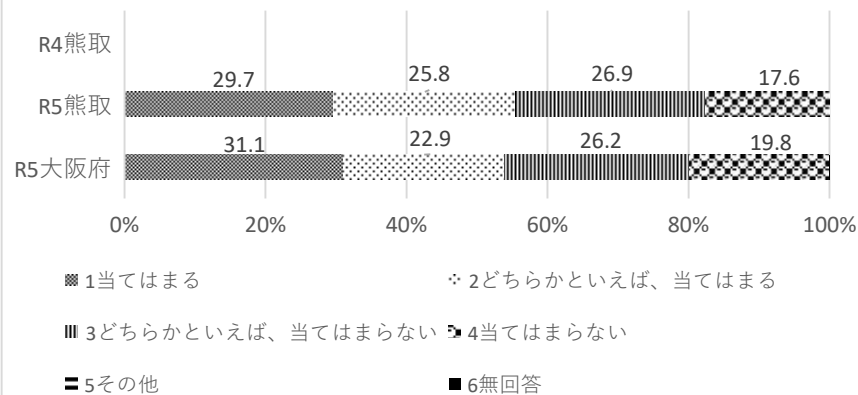
62 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

中学校



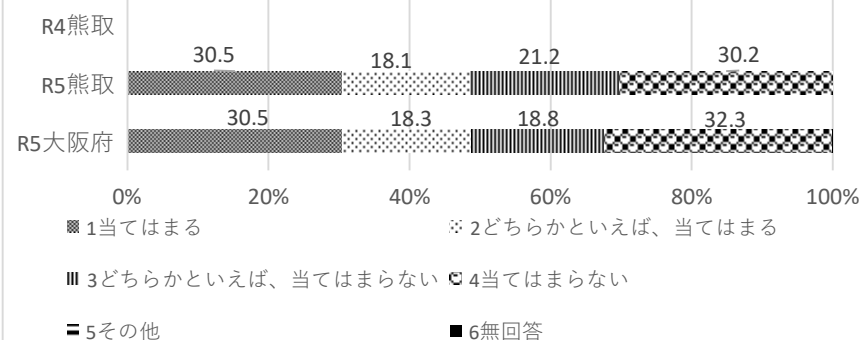
57 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか

小学校



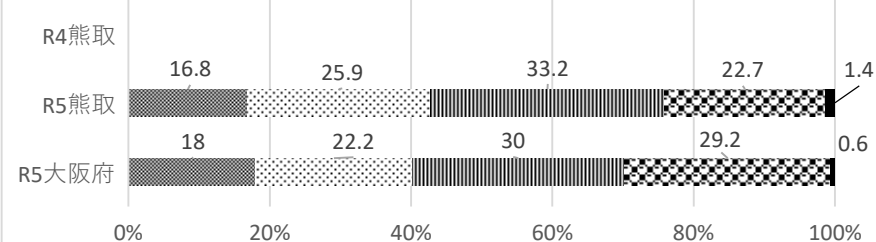
58 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分ありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

小学校



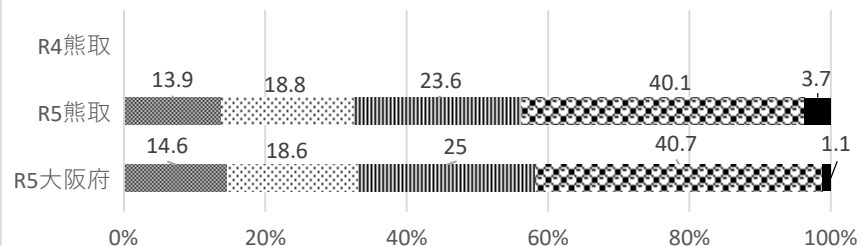
63 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか

中学校



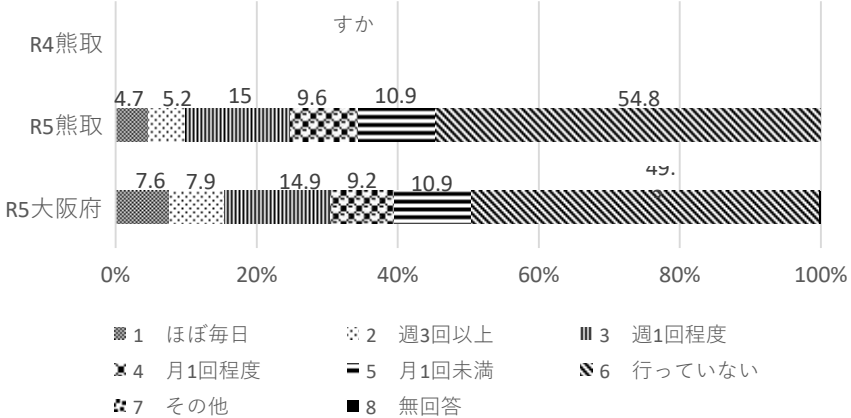
64 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分ありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

中学校



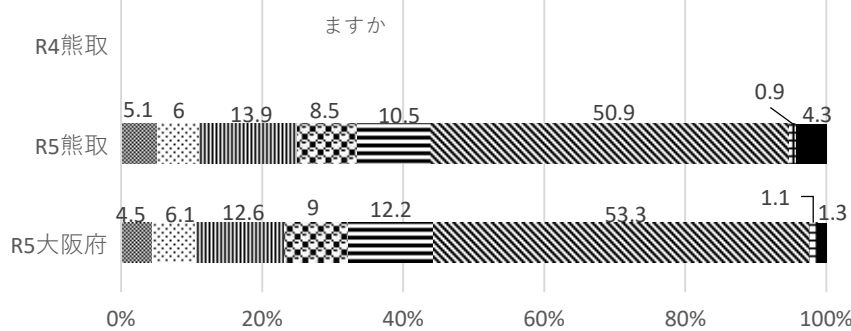
59 家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声の聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

小学校



65 家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声の聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

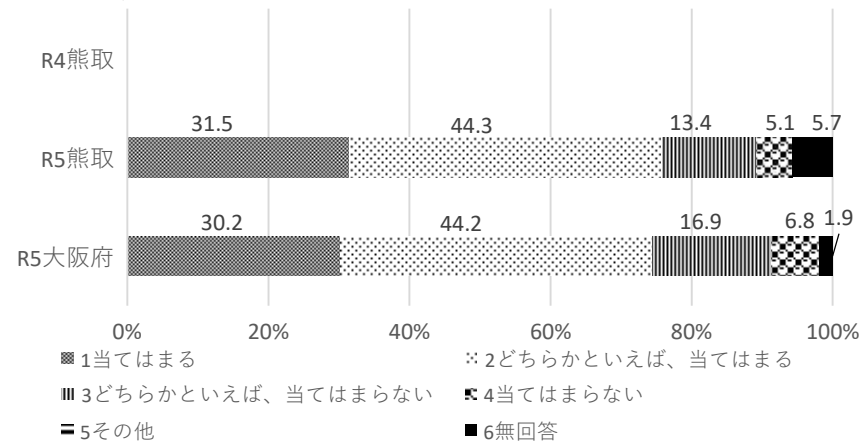
中学校



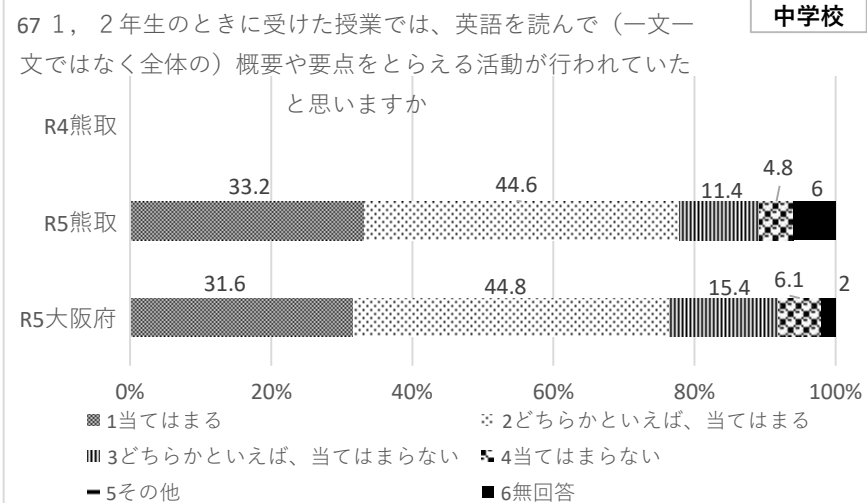
小学校なし

66 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

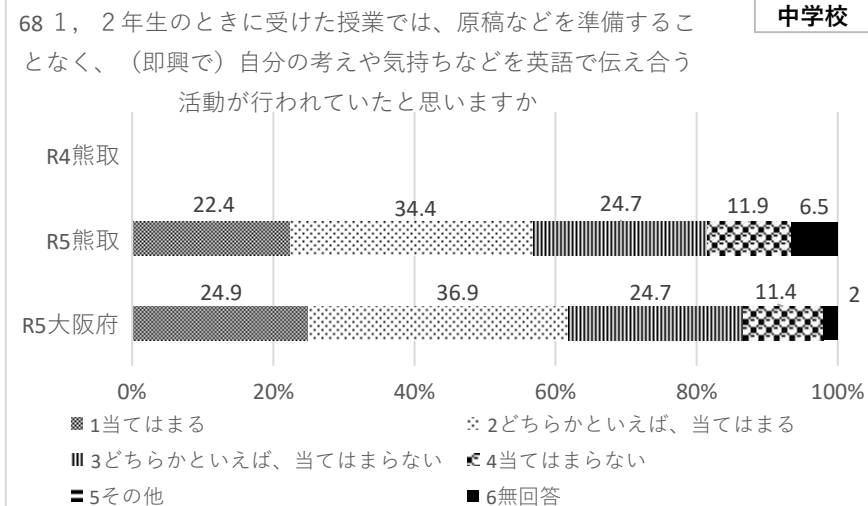
中学校



小学校なし



小学校なし

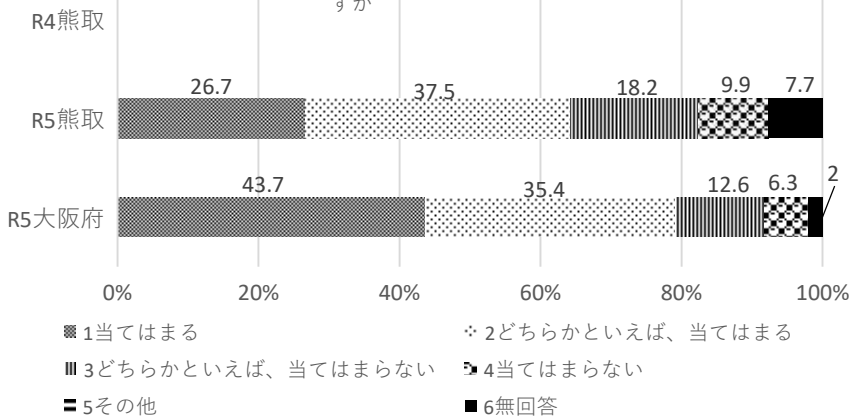


小学校なし

小学校なし

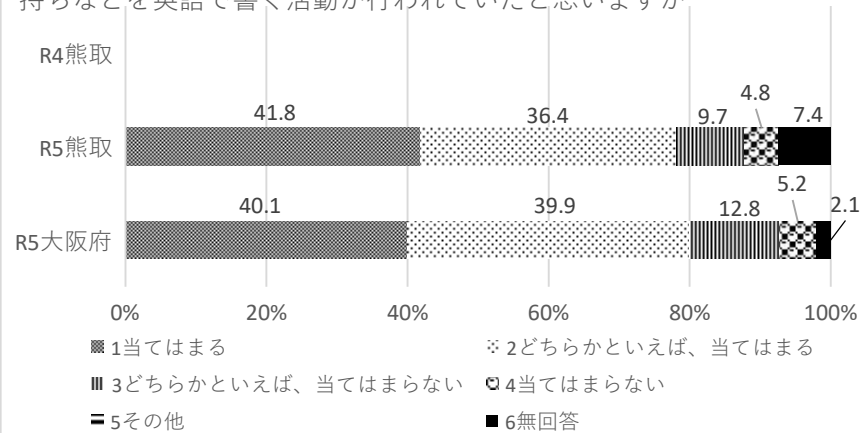
69 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

中学校



70 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

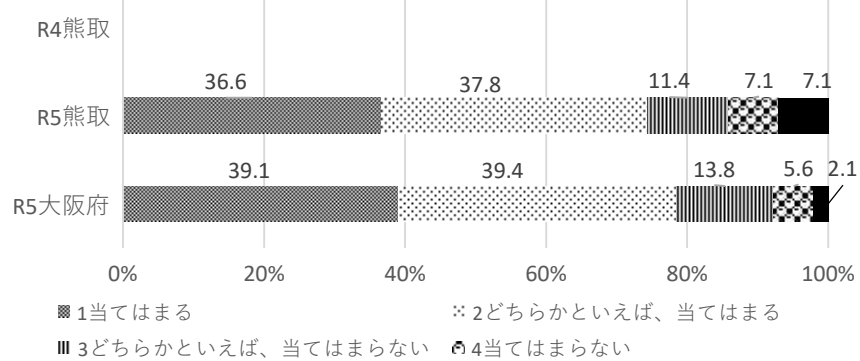
中学校



小学校なし

71 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

中学校



小学校なし

72 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか

中学校

